平成30年

全衛連ストレスチェックサービス実施結果報告書

令和元年8月

公益社団法人 全国労働衛生団体連合会 メンタルヘルス専門委員会

はじめに

公益社団法人 全国労働衛生団体連合会(全衛連)は、平成22年4月から定期健康診断に併せてストレスチェックを実施する「全衛連メンタルヘルスサービス」(旧サービス)を提供してきた。

平成27年12月からは、労働安全衛生法にストレスチェック制度が創設されたことに伴い、旧サービスのうち、高ストレス者選定基準、医師面接の申し出方法等について、改正法に基づく制度に適合するべく変更し、「全衛連ストレスチェックサービス」(新サービス)と改称して提供している。

新サービスでは、受検者に対しては個人評価結果「あなたのストレスプロフィール」を提供し、ストレスチェックをきっかけに自らのストレスの状況に気づいていただき、また、高ストレスと判定された人のうち医師面接を申し出た人に対し医師面接を実施するほか、高ストレスと判定されても医師面接の申し出をしない人や高ストレスの判定の有無にかかわらず相談希望のある人に対し、旧サービスから実施してきた事業者に申し出ることなく医師や保健師等が相談に対応するサービスも引き続き提供している。

また、事業者に対しては新サービスにおいても職場ストレス状況についての分析結果「職場評価 結果報告書」を作成し、職場改善の取組のための基礎資料を提供している。

全衛連は、旧サービスの提供を開始した平成22年度以来、ストレスチェックの実施状況、医師・保健師等による面接指導状況、職場改善指標である「健康リスク」について年度報として公表してきた。平成28年からは、ストレスチェック制度が12月から施行されたこと、次年度で使用する「健康リスク」を3月中にまとめなければならないこと等から、年報に改めた。

本報告書は、平成30年1月~12月の1年間に全衛連会員機関が提供したストレスチェックサービスついて取りまとめたものである。

なお、報告書は第1部を「報告書のポイント」、第2部をデータも収録した「ストレスチェックサービス結果、資料編」の2部構成とした。

令和元年6月

公益社団法人 全国労働衛生団体連合会 メンタルヘルス専門委員会 委員長 黒木 宣夫

公益社団法人 全国労働衛生団体連合会 メンタルヘルス専門委員会

委員長 黒木 宣夫 東邦大学 名誉教授

荒井 稔 日本私立学校振興・共済事業団東京臨海病院 診療部 精神科部長

大西 守 (公社)日本精神保健福祉連盟 常務理事

小田切 優子 東京医科大学 公衆衛生学分野 講師

島津 明人 慶應義塾大学 総合政策学部教授

田中 克俊 北里大学大学院教授(医療系研究科 産業精神保健学)

松井 知子 杏林大学 医学部衛生学公衆衛生学教室

森崎 美奈子 京都文教大学客員教授 産業メンタルヘルス研究所研究員

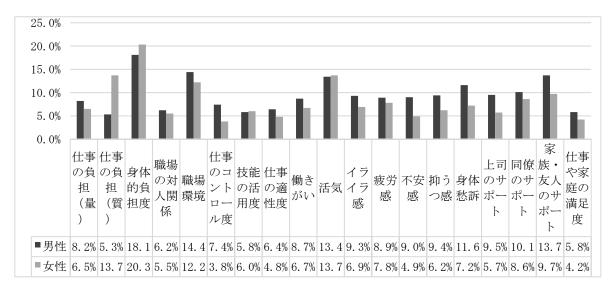
吉村 靖司 (医社) 弘冨会 神田東クリニック MP Sセンター 産業精神保健研究所 院長(診療統括)

目 次

[4	文報告書0	Dポイント】							••••	 1
[]	区成30年	Fストレスチェ	ニックサービス	ス結果】						 3
1	受検者の)属性							••••	 3
2	調査票~	への回答状況							••••	 8
3	尺度別の	D評価区分の状	況							 10
4	高ストレ	/ス者の状況								 14
5	仕事の負	担(量)、コ	ントロール度	、上司	・同僚の	サポート	の相互	関係		 19
6	健康リス	マク ・・・・・・・								 20
7	医師面接	接及び相談対応	<u> </u>							 24
8	職場評価	<u> </u>								 25
【資	對編】									 26
(参	送考1)	全衛連ストレ	⁄スチェック訓	間査票	(質問項目	5 7項目]) ·			 45
(参	考2)	素点換算表	(職業性ストレ	ノス簡易	島調査票5	7項目を	上利用 。	する場合	<u>}</u>)	 46
【参	《考文献】									 47

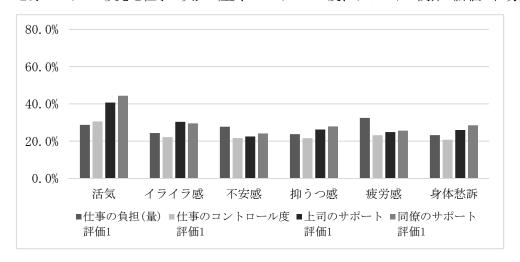
【本報告書のポイント】

- 1 72 会員機関から提出された 1,514,572 人分のデータを解析した。
- 2 高ストレス者は 218, 462 人 (受検者の 14.4%) であり、29 年の 13.6% より増加した。男性 の 方が女性と比べ高ストレスと判定された人の割合が 3.7% 若干高かった。
- 3 57 項目の質問を19 の尺度に整理し、尺度別にストレスの最も高いと評価される「評価1」 に該当した人の割合は次の棒グラフのとおりである。

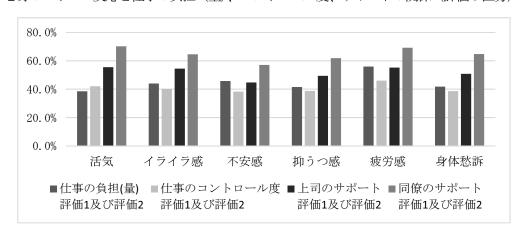


- (1) ストレスの原因となる職場因子として「評価1」が10%を超えたのは、「身体的負担」、「職場の物理的環境」であった。
- (2) ストレスによっておこる心身の反応で「評価1」が10%を超えたのは、「活気」の低下「身体愁訴」(男性)であった。
- (3) 上司・同僚・家族友人のサポートでは男性がおおむね「評価1」が10%を超えた。
- (4) 男女別にみると、「仕事の負担(質)」「身体的負担」の尺度において女性が男性より明らかに高くなっているほかは、男性の方がストレスを強く感じている。
- 4 心身のストレス反応に関する各尺度(「活気」、「イライラ感」、「疲労感」、「不安感」、「抑うつ感」、「身体愁訴」)が「評価1」と評価された人について、「仕事の負担(量)」、「仕事のコントロール度」、「上司・同僚のサポート」の状況との関係をみたところ、その寄与割合は総じて「上司・同僚のサポート」が「仕事のコントロール度」、「仕事の負担(量)」を上回っており、サポートの中でも「同僚のサポート」がより大きな意味を持つ状況が明らかになった(19ページ参照)。

心身のストレス反応と仕事の負担(量)、コントロール度、サポートの関係(評価5区分)



心身のストレス反応と仕事の負担(量)、コントロール度、サポートの関係(評価3区分)



- 5 全業種平均健康リスクは、男性 101、女性 95 となった。 業種別(大分類)健康リスクをみると男女とも 120 を超えている業種はなかった。
- 6 職場評価結果報告(仕事のストレス判定図他資料)を提出したのは、ストレスチェック実施 事業場の 68.4%で、1事業場平均の評価集団数は 4.6 件であった。
- 7 ストレスチェックと医師面接の実施を包括的に契約した事業場 (5,892 事業場、603,700 人) における医師面接対象者は73,668 人(12.2%)で、実際に面接を実施したのは6,073 人(8.2%) であった。

【平成30年ストレスチェックサービス結果】

本報告書は、平成30年(1月~12月)に全衛連会員機関が提供するストレスチェックを受検した約300万人のうち、匿名化した上で集計・分析することに同意した人のデータを集計、分析したものである。

本年1月に匿名化データの提出を会員機関に求めたところ、72会員機関から1,514,572人分のデータが提供された。

なお、参考までに平成23年からの全衛連ストレスチェックサービス実施結果報告書で分析した 受験者数(分析対象数)の推移を表1に示した。平成27年12月から、事業場規模50人以上の事 業者にストレスチェックの実施が義務付けられたため、平成28年以降受検者数が大幅に増加して いる。

秋 1 万	数(JJ/II/A)参数) V	7年/9	
	男性	女性	全体
平成22年度	20, 377	5, 542	25, 919
平成23年度	26, 552	8, 529	35, 051
平成24年度	44, 021	25, 744	69, 765
平成25年度	45, 125	19, 467	79, 512
平成26年度	41, 571	18, 574	75, 311
平成27年度	53, 770	36, 118	89, 888
平成 28 年度	526, 464	307, 659	834, 123
平成 29 年	999, 609	623, 751	1, 623, 360
平成 30 年	939, 475	575, 097	1, 514, 572

表1 男女別受検者数(分析対象数)の推移

- * 受検者数は、全衛連サービス利用者のうち分析に同意した受検者で、回答に不備があり分析に適さないものを除いた数である。
- * 27 年度は、4~11 月に法制化以前のサービスとして実施した件数と、法制化された 12 月以降3月まで実施他件数の合計数である。
- * 28年からは、集計を年度から年単位に変更した。

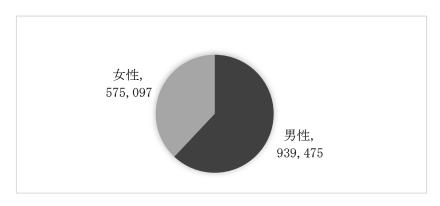
1 受検者の属性

受検者の属性(男女別、年代別、業種別、職種別、雇用形態別、職位別)は図1~6のとおりであった。

なお、1,514,572 人の属性のうち男女別、年代別、業種別の属性は全数入手できたが、職種別、雇用形態別、職位別についての属性情報が得られたのは約30万件で、職種、雇用形態についてはそのうち約1/5が「その他」に分類されるなど、期待した精度の情報となっていなかったが、それでもnが20万件以上得られたことから分析対象とした。

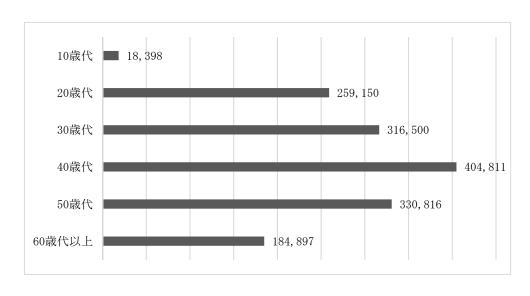
(1) 男女別

図1 受検者の男女別構成 (n=1,514,572)



(2) 年代別

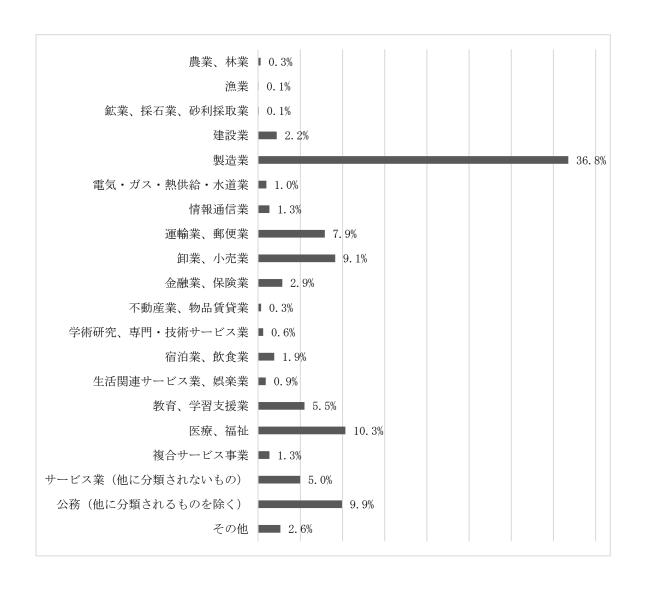
図2 受検者の年代別構成 (n=1,514,572)



(3)業種別

業種別では、製造業が全体の1/3を占め、次いで、医療・福祉、公務などであった。 なお、農業・林業、漁業、鉱業・採石業・砂利採取業、不動産業・物品賃貸業、学術研究・ 専門/技術サービス業、生活関連サービス業・娯楽業についてはnが1%未満であり、後述す る業種別健康リスクを評価する場合留意する必要がある。

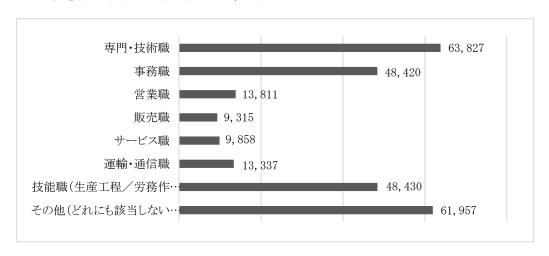
図3 受検者の業種別構成 (n=1,514,572)



(4) 職種別

職種別の属性情報を得られたのは 1,514,572 人中 268,955 人であり、さらに、そのうち約 1/4 が「その他」に分類されており、後述する職種別健康リスクを理解するうえで留意する必要がある。

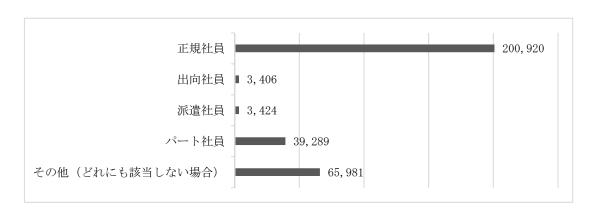
図4 受検者の職種別構成 (n=268,955)



(5) 雇用形態別

雇用形態別の属性情報を得られたのは 1,514,572 人中 312,819 人であり、さらに、そのうち約 1/5 が「その他」に分類されており、後述する職種別健康リスクを理解するうえで留意する必要がある。

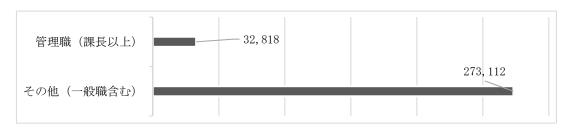
図5 受検者の雇用形態別構成 (n=312,819)



(6) 職位別

職位別の属性情報を得られたのは 1,514,572 人中 305,930 人である。

図 6 受検者の職位別内訳 (n=305,930)



2 調査票への回答状況

(1) 各質問への回答状況

57項目の各質問に対する回答状況は【資料編】の表10のとおりである。

仕事の内容・状態に関する質問に関し、全体の2割から3割の人が「3.一生懸命働かなければならない」(33.5%)、「1. 非常にたくさんのしなければならない」(16.6%)、「4. かなり注意を集中する必要がある」(28.3%)、「6. 勤務時間中はいつも仕事のことを考えていなければならない」(18.9%)の質問に「そうだ」と回答し。一方、「7. からだを大変よく使う仕事だ」の質問に対し「そうだ」(18.9%)、「ちがう」(21.4%)で、従事する仕事の性質によるものであると考えられる。

平成30年の回答と平成29年の回答を比較すると、仕事の内容・状態に関する質問のNo.1からNo.17のうち、「1.非常にたくさんの仕事をしなければならない」への回答が「そうだ」と回答した人が平成29年より0.9%増加したほか、「15.私の職場の作業環境はよくない」と回答した人が平成29年より0.6%増加したほかは、分析対象となった1,514,572人の仕事の環境は平成30年と平成29年ではほとんど変化がなかった。

また、心身のストレス反応に関する質問のNo. 1 からNo. 29 についても、「1. 活気がわいてくる」、「2. 元気いっぱいだ」、「3. 生き生きする」への回答が「ほとんどなかった」と回答した人がそれぞれ0.7%、0.6%、0.7%増加したほか、「7. ひどく疲れた」、「8. へとへとだ」、「9. だるい」への回答が「ほとんどいつもあった」と回答した人がそれぞれ0.5%、0.6%、0.5%増加にとどまり、回答状況にほとんど変化はなかった。

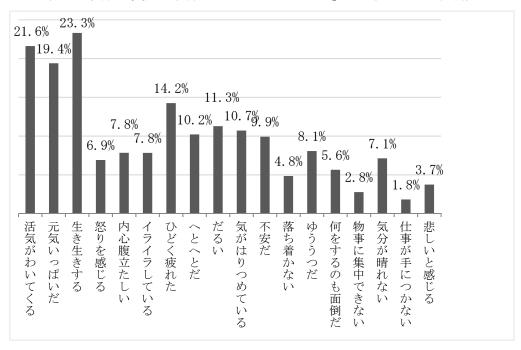
周囲の支援の状況に関する質問についても、「4. 上司はどれくらい頼りになりますか」への回答が「全くない」と回答した人が0.5%増加したが、それ以外は変化がなかった。

(2) 心身の負担を調査する質問への回答状況

ストレスチェック制度における高ストレス者判定基準は心身に現れたストレス反応を中心 として評価していることから、「ストレスによっておこる心身の反応」について質問項目ごと に最もストレスが高い回答をした人の割合をみた。

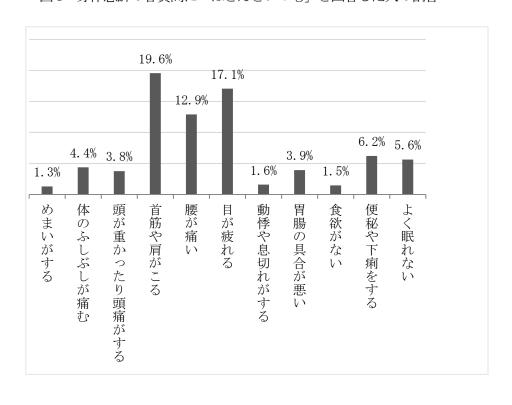
図7のとおり、心身のストレス反応に関する質問では、「1. 生き生きする」、「2. 活気がわいてくる」、「3. 元気いっぱいだ」と感じることがほとんどなかった人が、それぞれ 23. 3%、21.6%、19.4%であった。また、「ひどく疲れた」、「だるい」、「へとへとだ」と感じている人が、それぞれ 14.2%、11.3%、10.2%と次いだ。

図7 心理的な負担の各質問に「ほとんどいつもあった」と回答した人の割合 (活気に関する質問の場合は「ほとんどなかった」と回答した人の割合)



また、身体愁訴の各質問に「ほとんどいつも」と回答した人の割合は図8のとおりであり、「首筋や肩がこる」、「目が疲れる」、「腰が痛い」の順で10%を超える高さであった。一方、「めまいがする」、「食欲がない」、「動悸や息切れがする」に回答した人は1%台であった。

図8 身体愁訴の各質問に「ほとんどいつも」と回答した人の割合



3 尺度別の評価区分の状況

上記2では、質問項目ごとに最もストレスが高い回答をした人の割合をみたが、ここからは 評価する尺度ごとの状況をみる。

57の質問に対する回答は、ストレスを感じる状況に応じて「そうだ」、「ややそうだ」、「ややちがう」、「ちがう」の4つのいずれかに回答されるが、尺度の評価は、この回答から素点換算表を用いて「低い/少ない」、「やや低い/少ない」、「普通」、「やや高い/多い」、「高い/多い」の5段階で評価される。

尺度は、57項目の質問を「心理的な仕事の負担(量)」、「心理的な仕事の負担(質)」、「自覚的な身体負担度」、「職場の対人関係でのストレス」、「職場環境によるストレス」、「仕事のコントロール度」、「技能の活用度」、「仕事の適正度」、「働きがい」、「活気」、「イライラ感」、「疲労感」、「不安感」、「抑うつ感」、「身体愁訴」、「上司からのサポート」、「同僚からのサポート」、「家族・友人からのサポート」、「仕事や生活の満足度」の19に分類される。

尺度別の評価区分(評価1:ストレス大、評価2:ストレスやや大、評価3:ふつう、評価4: ストレスやや小、評価5:ストレス小)の状況を【資料編】の表 18、表 19 に示した。

(1) 尺度別・評価1の状況

尺度別に最もストレスが高い「評価1」に区分された人の割合を図13に示す。

各尺度とも総じて男性の方が女性より評価 1 と判定された人が上回ったが、「仕事の負担 (質)」、「身体負担度」において女性が男性を上回った。

各尺度の評価 1 と判定された人についての平成 30 年と平成 29 年の比較は図 14、図 15 のとおりであり、前記 2 の(1)と同様、回答傾向に差は認められなかった。

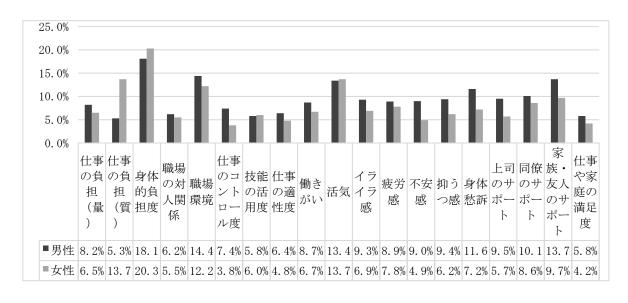


図13 尺度別に評価1に該当した人の別割合(男女別)

図14 平成30年と平成29年の回答傾向の比較(男性)

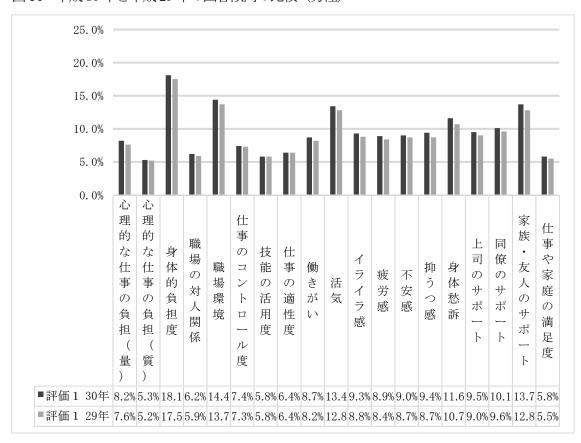
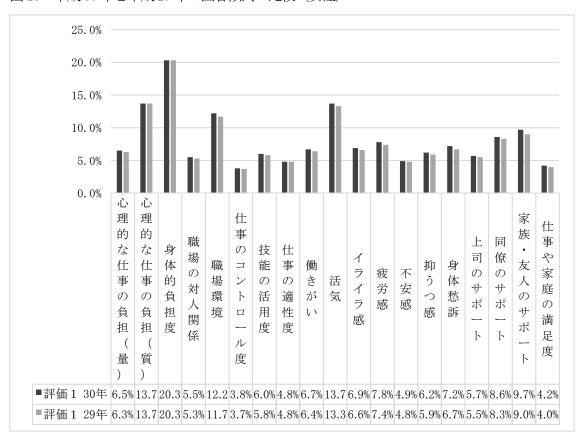


図15 平成30年と平成29年の回答傾向の比較(女性)



(2) 仕事の負担(量)、コントロール、上司・同僚のサポート別評価区分の状況

図 16 及び図 17 は、「仕事の負担(量)」、「仕事のコントロール度」、「上司のサポート」及び「同僚のサポート」における評価区分の状況である。評価 1 と判定されたのは、男性の方が女性より割合が高かった。

図16 仕事の負担(量)、仕事のコントロール度、上司・同僚のサポート(男性)(5区分)

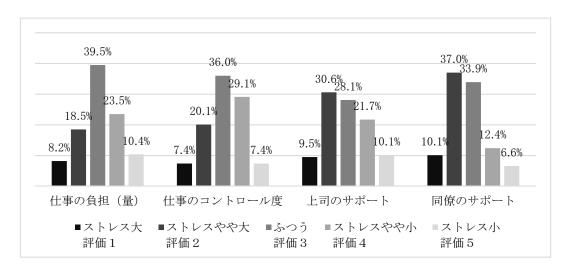
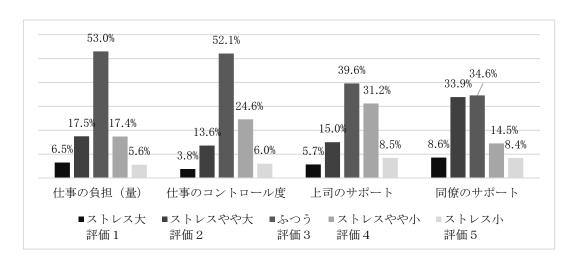


図17 仕事の負担(量)、仕事のコントロール度、上司・同僚のサポート(女性)(5区分)



(3) ストレス度を3区分に見た場合の分布

ストレスが大 (評価 1+評価 2)、普通 (評価 3)、小 (評価 4+評価 5) の 3 区分にして比較したものが図 18、図 19 である。

前記 (2) 同様、ストレス大 (評価 1+評価 2) は男性の方が女性より割合が高かった。 また、男女とも同僚のサポートが得られていない状況が顕著にみられる。

図 18 仕事の負担(量)、仕事のコントロール度、上司・同僚のサポートとストレス評価(3区分)(男性)

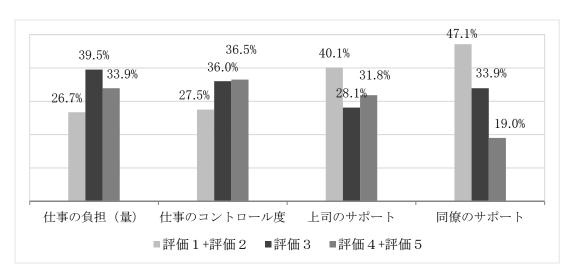
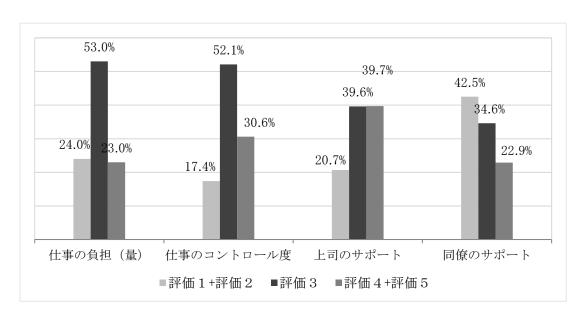


図 19 仕事の負担(量)、仕事のコントロール度、上司・同僚のサポートとストレス評価(3区分)(女性)



4 高ストレス者の状況

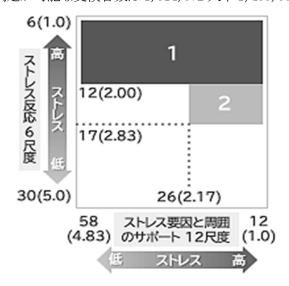
厚生労働省「ストレスチェック制度実施マニュアル」では、高ストレス者の判定基準として「合計点方式」、「素点換算表方式」の2つの方法を示している。

合計点数方式は、57項目の質問のそれぞれについて「そうだ」、「まあそうだ」、「ややちがう」、「ちがう」のいずれかを選択してもらい、その回答からストレスの大きい順に「4点」「3点」「2点」「1点」の点数を与え、その合計点数から高ストレス判定を行う方式である。

一方、素点換算方式は、チェックシートの質問を尺度(例えば「1. 非常にたくさんの仕事をしなければならない」「2. 時間内に仕事が処理しきれない」「3. 一生懸命働かなければならない」の3つの質問を【心理的な仕事の負担(量)】という尺度として理解)ごとに評価し、高ストレス判定を行う方式である。素点換算表の網掛け部分が最もストレスが高いエリアになる。

「素点換算表方式」で高ストレス者と判定するのは、次の①及び②に該当する者である。

- ① 「B. 心身のストレス反応」に関する評価合計点が12点以下の者
- ② ①の「B. 心身のストレス反応」に関する評価合計点が17点以下であり、かつ、「A. 仕事のストレス要因」と「C. 周囲のサポート」評価点の合計点が26点以下の者 この高ストレス判定が可能な受検者数は1,514,572人中1,485,863人であった。



全衛連ストレスチェックサービスにおいては、事業場の希望により「合計点方式」、「素点換算表方式」のいずれかの方式により高ストレス者の判定をしているが、本報告書では、会員機関から報告されたストレスチェック実施データを「素点換算表方式」により計算して解析対象とした。(新サービスでは、合計点数法、素点換算法のいずれの方法による場合も、判定基準に該当する人の一覧表に基づき、実施者(産業医等)が医師面接対象となる者の絞り込み、あるいは追加を行い、医師面接を受けることを勧奨している。したがって、高ストレス者判定基準に該当する人と、実際に医師面接を勧奨した人とは若干異なる。)

参考までに資料集の表 11 のとおり、全受検者に対する高ストレス者の比率は平成 22 年を除く平成 23 年度から平成 27 年度までは 11%から 12%台で推移して、それぞれの基準による高ストレス者の比率には、大きな差異がみられないが、平成 28 年度からはそれまでより上昇していることが分かる。

(1) 男女別高ストレス者の割合

高ストレス判定が可能な 1,485,863 人中 218,462 人が高ストレス者と判定された。 男女別では、男性の方が女性と比べ高ストレスと判定された人の割合が若干高かった (3.7%)。

平成29年と比較すると、男性女性とも高ストレスと判定された人の割合が増加し、それぞれ1.2%、0.8%の増加であった。

男性 女性 全体 12.4% 14.7%

図20 男女別高ストレス者の割合

(2) 年代別高ストレス者の割合

年代別では、20歳代、30歳代、40歳代が高ストレスと判定された人が全体平均より高く、 逆に50歳代、60歳代では低かった。

平成29年と比較すると、10歳代は高ストレスと判定された人の割合が減少しているが、20歳代以上では高ストレスと判定された人の割合が増加している。

特に、20歳代、30歳代、40歳代では、平成29年と平成30年との差はそれぞれ0.6%、1.5%、0.9%の増加であり、30歳代が最も増加していた。

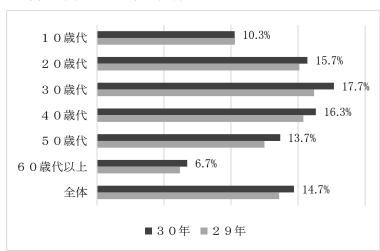


図21 年代別高ストレス者の割合

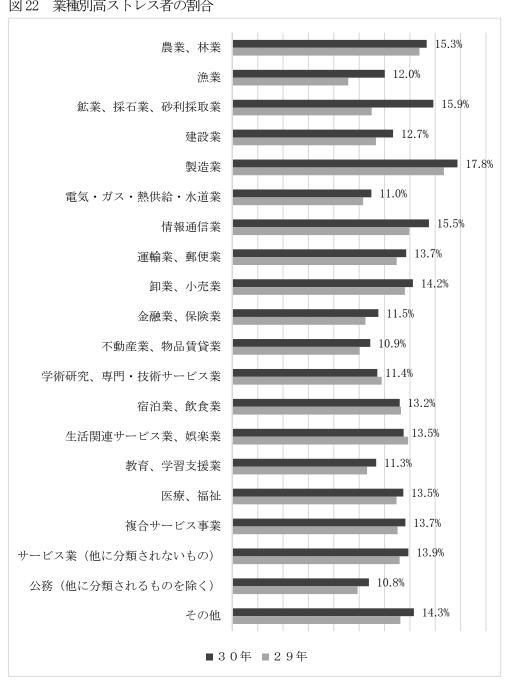
(3)業種別高ストレス者の割合

業種別では、製造業 (17.8%)、情報通信業 (15.5%) などが平均より高かった。 平成29年と比較すると、減少した業種は学術研究・専門技術サービス業、宿泊業・飲食業 生活関連サービス業・娯楽業の3業種で、それ以外の業種は全て増加している。

なかでも、鉱業・採石業・砂利採取業が4.9%で最も増加し、次いで漁業が2.9%、情報通信 業が1.5%とそれぞれ増加している。

なお、業種別の傾向については、一部受検者数が小さい業種もあるため、個別事業場の結 果が大きく影響を及ぼしている可能性もあり、今後の推移をみていく必要がある。

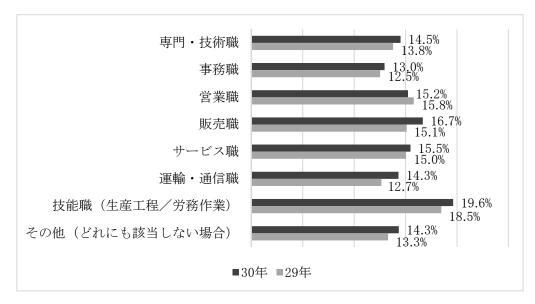
図22 業種別高ストレス者の割合



(4) 職種別高ストレス者の割合

職種別の属性情報を得られたのは、1,485,863 人中218,462 人であった。 平成30年と平成29年の比較では、回答傾向に差は認められなかった。

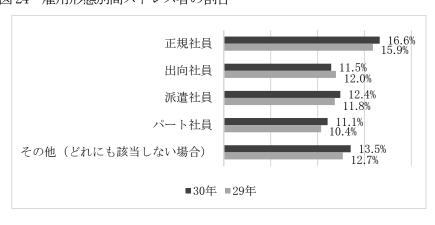
図23 職種別高ストレス者の割合



(5) 雇用形態別高ストレス者の割合

雇用別の属性情報を得られたのは、1,485,863 人中218,462 人であった。 平成30年と平成29年の比較では、回答傾向に差は認められなかった。

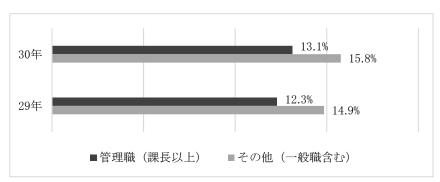
図24 雇用形態別高ストレス者の割合



(6) 職位別高ストレス者の割合

職位別の属性情報を得られたのは、1,485,863 人中218,462 人であった。 平成30年と平成29年の比較では、回答傾向に差は認められなかった。

図25 職位別高ストレス者の割合



5 仕事の負担(量)、コントロール度、上司・同僚のサポートの相互関係

(1)「心身のストレス反応」と仕事の負担(量)、コントロール度、上司・同僚のサポートの関係 心身のストレス反応の各尺度が評価1の人について、「仕事の負担(量)」、「仕事のコントロ ール度」、「上司・同僚のサポート」との関係をみたのが図28である。

また、上記(1) 同様、ストレス大(評価1+評価2)、普通(評価3)、小(評価4+評価5) の3区分で見たのが図29である。

ここで特徴的なのは、心身のストレス反応に関する各尺度において「上司・同僚のサポート」が常に「仕事のコントロール度」を上回っており、サポートの中でも「同僚のサポート」がより大きな意味を持っていることである。さらに、図 28 では「疲労感」、「不安感」において「仕事の負担(量)」の影響が強く出たが、図 29 でみると心身のストレス反応のすべての尺度において、「上司・同僚のサポート」が「仕事の負担(量)」、「仕事のコントロール度」を上回っていた。「上司・同僚のサポート」の中でも「同僚のサポート」がより大きな意味を持つ状況が明らかになった。

図28 心身のストレス反応と仕事の負担(量)、コントロール度、サポートの関係(5区分)

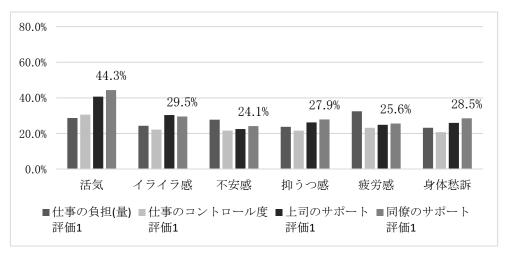
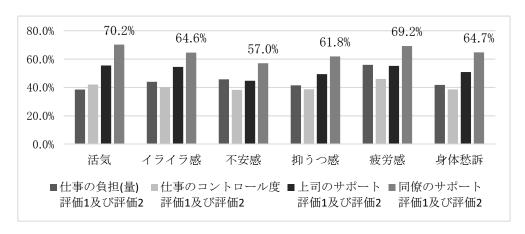


図29 心身のストレス反応と仕事の負担(量)、コントロール度、サポートの関係(3区分)



6 健康リスク

全衛連ストレスチェックサービスでは、前年に実施したストレスチェック結果から、全国平均、業種別の「健康リスク」を算出し、翌年に全衛連ストレスチェックサービスを利用する事業場の健康リスクとして仕事のストレス判定図を示すとともに、事業場全体及び部署単位(以下「集団」という)の仕事のストレス要因の特徴を示している。

仕事のストレス判定図は、仕事のストレス要因から予想されるや疾病休業などの健康問題の リスクを標準集団の平均100 として表している。例えば、ある集団の位置が健康リスク120 の 線上にある場合には、その集団において健康問題が起きる可能性が標準集団とくらべて20%増 加していると判断できる。

これまでの調査事例では、健康リスクが120 を越えている場合には何らかの、仕事のストレスに関する問題が職場で生じている場合が多いとされている。

(1) 平成30年集計による全国平均

平成30年集計から、男性の全業種平均健康リスクは101、女性は95となった(図30)。業種別健康リスクをみると男女とも120を超えている業種はなかった(図31、図32)。

男性では製造業 (107)、鉱業・採石業・砂利採取業 (103)、農業・林業 (102)、情報通信業 (102)、運輸業・郵便業 (101)、卸業・小売業 (101)、医療・福祉 (101) 及びサービス業 (101) で 100 を超えていた。製造業を中分類でみると、飲料・たばこ・飼料製造業 (97)、石油製品・石炭製品製造業 (91) の他は 100 を超えていた。

女性では100以下がほとんどであり、100を超えたのは製造業(101)の1業種であった。製造業の中分類では、100を超えている業種は情報通信機械器具製造業(107)、パルプ・紙・紙加工品製造業(106)、食料品製造業(105)、繊維工業(104)、プラスチック製品製造業(104)、金属製品製造業(102)、業務用機械器具製造業102)、木材・木製品製造業(家具を除く)(111)、はん用機械器具製造業(101)、電子部品・デバイス・電子回路製造業(101)、電気機械器具製造業(101)、その他の製造業(101)であった。(表30、31)。

業種別に「仕事の負担(量)」と「上司・同僚のサポート」に係る健康リスクを比較すると、 ほとんどの業種において「仕事の負担(量)」より「上司・同僚のサポート」の健康リスクが 大きい傾向にある。

なお、男性では金融業・保険業、教育・学習支援業、医療・福祉、公務であり、女性では 卸業・小売業、金融業・保険業、生活関連サービス業・娯楽業、宿泊業・飲食業、教育・学 習支援業、医療・福祉、公務では「上司・同僚のサポート」より「仕事の負担(量)」の健康 リスクが大きい結果となった。

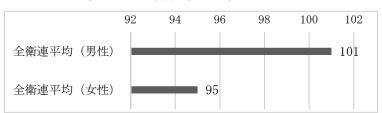


図30 男性・女性別 全業種平均健康リスク

図31 業種健康リスク (男性)

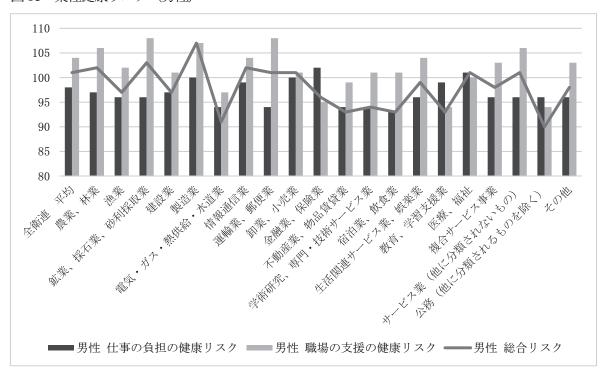
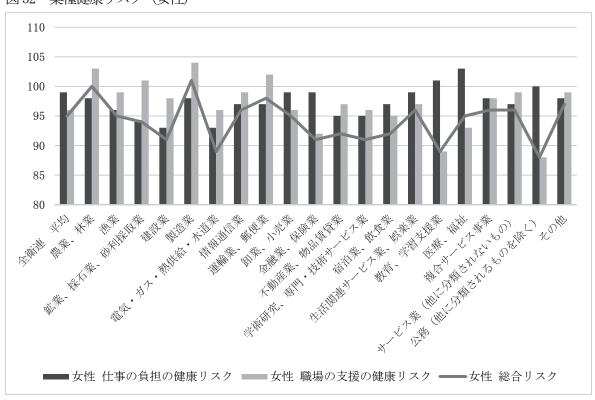


図32 業種健康リスク(女性)



(2) 年代別健康リスク

総合健康リスクを年代別にみると、男性では、30歳代、40歳代、50歳代が100より高く、 女性では50歳代が高くなっている。

なお、年代別の仕事の負担と職場の支援の健康リスクを比較してみると、男性は30歳代か ら、女性は50歳代から全国平均より高く職場の支援が得られていない傾向がみられる(表 30、表 31)。

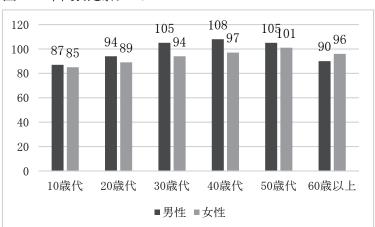
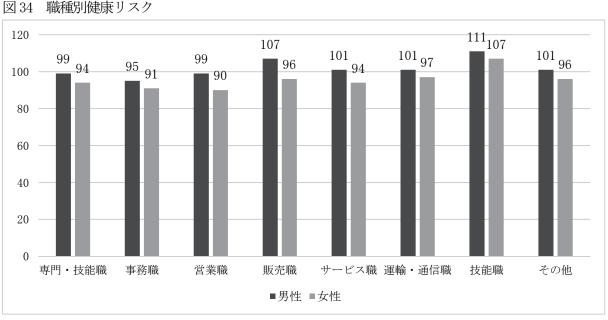


図33 年代別健康リスク

(3) 職種別健康リスク

職種別の総合健康リスクは、男女とも120を超えている職種はなく、総合健康リスクの最 も大きい職種は男女とも技能職(生産工程/労務作業)である。なお、技能職では、職場の 支援に係る健康リスクが大きく、さらなる支援が必要な職種であることがうかがえる(表30、 表 31)。



(4) 雇用形態別健康リスク

雇用形態別の総合健康リスクは、男性では正規社員及び派遣社員、女性では派遣社員及び パート社員が大きくなっている。

仕事の負担、職場の支援の健康リスクを比較してみると、男性では職場の支援の健康リスクの方が大きく、女性では派遣社員以外は、仕事の負担の健康リスクの方が大きくなっている。男性では職場の支援に改善が必要と感じている人、女性では仕事の負担を感じている人が多い傾向がうかがえる(表30、表31)。

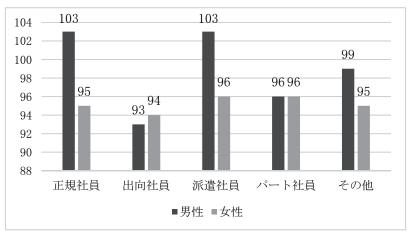


図35 雇用形態別健康リスク

(5) 職位別健康リスク

職位別の総合健康リスクは、管理職では一般職員より概して小さい傾向にある。 女性管理職及び一般職員とも仕事の負担に係る健康リスクは全国平均値より大きい。仕事の負担を感じている女性が多いことから職場の支援に改善の余地があることがうかがえる (表 30、表 31)。

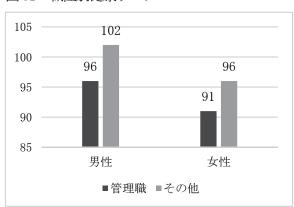


図31 職位別健康リスク

7 医師面接及び相談対応

全衛連サービスの特徴は、ストレスチェック、医師面接及び相談対応を一体的に実施することにある。ただし、事業場によっては産業医が自ら医師面接を実施する等、必ずしもストレスチェック実施受託事業場の全てについて医師面接及び相談対応を委託されているとは限らない。そこで、ストレスチェックデータの提出とは別に、医師面接及び相談対応を実施した事業場について別途アンケートを実施した。アンケートに回答した69機関中医師面接を実施した機関は59機関、相談対応を実施した機関は34機関であった。

医師面接及び相談対応の実施結果は表2のとおりである。

医師面接対象者の割合は全体の約12.2%、医師面接実施は、対象者の8.2%であった。 なお、相談対応を実施したのはストレスチェック実施者の0.5%にとどまっている。

ST EFFEIDS/XO THEOLING COMMITTEE					
	契約事業場	ストレスチェッ	医師面接対象者数	実施数(%)	
		ク実施従業員数	(%)		
医師面接	5, 892	603, 700	73, 668 (12. 2%)	6,073 (8.2%)	
相談対応	1, 794	200, 201	_	1,016 (0.5%)	

表 2 医師面接及び相談対応実施状況

医師面接実施率は、これまでになく、高い数値となった。これは、平成22年度からの推移を 図32に示した。

平成27年度に労働安全衛生法の改正があり、全衛連のサービスは、平成27年度以前のサービスを旧サービス、平成27年度以後のサービスを新サービスと称している。

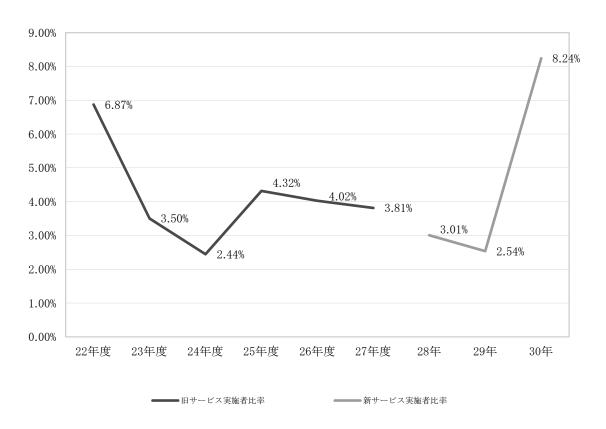
相違は、別ページにあるが、平成22年度の6.87%の実施率は、平成24年度までは減少していたが、翌年度の平成25年度では4.32%と一旦上昇したものの、以降は減少していった。ところが、新サービスとなった平成28年では3.01%とそれまでより少なかったが、以降上昇し、30年では8.25%と過去最高となった。(平成27年度はサービスの切り替えを行ったことから、グラフからは除いた。)

ストレスチェックの必要性が高まり、全衛連のストレスチェックサービスの需要も同時に高 まってきていることがうかがえる。

逆に返せば、資料集表 11 の「高ストレス者の推移」からうかがえるように、高ストレス者の 割合は、30 年は29 年より割合が 0.9 ポイント増加している。

高ストレス者が、医師面接を受けて改善へ導けられることを願う。

図32 医師面接実施率の推移



8 職場評価

職場評価実施状況についても別途アンケートを実施した。

アンケートに回答した会員 70 機関でストレスチェック結果に基づき職場評価を実施しており、評価事業場数は 15,697 事業場(ストレスチェック実施事業場の 68.4%、1機関平均 224 事業場)、評価集団数は 49,699(1事業場平均の評価集団数は 4.6)であった。

表 3 職場評価実施事業場数、集団数 1 機関平均実施数、1 事業場平均実施数

	ストレスチェック	職場評価	職場評価	1事業場当たり
	実施事業場数	実施事業場数	実施集団数	平均評価集団数
件数	15, 697	10, 735	49, 699	4. 6
(比率)	15, 697	(68. 4%)	49, 099	4.0

【資料編】

表 4 男女別受検者数

性別	人数	比率
男性	999, 475	62.0%
女性	575, 097	38.0%
計	1, 514, 572	100.0%

表 5 年代別受検者数

年代	人数	比率
10 歳代	18, 398	1. 2%
20 歳代	259, 150	17. 1%
30 歳代	316, 500	20. 9%
40 歳代	404, 811	26. 7%
50 歳代	330, 816	21.8%
60 歳代以上	184, 897	12. 2%
計	1, 514, 572	100.0%

表 6 業種別受検者数

業種	人数	比率
大分類		
農業、林業	4, 335	0.3%
漁業	758	0.1%
鉱業、採石業、砂利採取業	1,063	0.1%
建設業	33, 292	2.2%
製造業	556, 827	36.8%
電気・ガス・熱供給・水道業	14, 724	1.0%
情報通信業	20, 243	1.3%
運輸業、郵便業	119, 616	7. 9%
卸業、小売業	138, 266	9. 1%
金融業、保険業	43, 311	2.9%
不動産業、物品賃貸業	5, 216	0.3%
学術研究、専門・技術サービス業	9, 029	0.6%
宿泊業、飲食業	28, 883	1. 9%
生活関連サービス業、娯楽業	13, 528	0.9%
教育、学習支援業	83, 094	5. 5%
医療、福祉	156, 562	10.3%
複合サービス事業	20, 239	1.3%

サービス業 (他に分類されないもの)	75, 315	5.0%
公務(他に分類されるものを除く)	150, 344	9.9%
その他	39, 907	2.6%
業種計	1, 514, 572	100.0%
製造業中分類		
食料品製造業	64, 466	11.6%
飲料・たばこ・飼料製造業	9, 718	1. 7%
繊維工業	17, 355	3. 1%
木材・木製品製造業(家具を除く)	2, 507	0.5%
家具・装備品製造業	3, 797	0.7%
パルプ・紙・紙加工品製造業	7, 495	1.3%
印刷・同関連業	16, 957	3.0%
化学工業	16, 510	3.0%
石油製品・石炭製品製造業	986	0. 2%
プラスチック製品製造業	19, 173	3. 4%
ゴム製品製造業	8, 337	1.5%
なめし皮・銅製品・毛皮製造業	219	0.0%
窯業・土石製品製造業	9, 422	1. 7%
鉄鋼業	13, 348	2.4%
非鉄金属製造業	8, 228	1. 5%
金属製品製造業	55, 424	10.0%
はん用機械器具製造業	10, 795	1. 9%
生産用機械器具製造業	15, 683	2.8%
業務用機械器具製造業	7, 341	1. 3%
電子部品・デバイス・電子回路製造業	26, 775	4.8%
電気機械器具製造業	47, 351	8.5%
情報通信機械器具製造業	1, 506	0.3%
輸送用機械器具製造業	75, 915	13. 6%
その他の製造業	117, 518	21. 1%
製造業計	556, 827	100.0%

表 7 職種別受検者数

職種	人数	比率
専門・技術職	63, 827	24%
事務職	48, 420	18%
営業職	13, 811	5%
販売職	9, 315	3%
サービス職	9, 858	4%

運輸・通信職	13, 337	5%
技能職(生産工程/労務作業)	48, 430	18%
その他 (どれにも該当しない場合)	61, 957	23%
入力計	268, 955	100%
未入力	1, 245, 617	_
計	1, 514, 572	

表 8 雇用形態別受検者数

雇用形態	人数	比率		
正規社員	200, 920	64%		
出向社員	3, 406	1%		
派遣社員	3, 424	1%		
パート社員	39, 289	13%		
その他 (どれにも該当しない場合)	65, 981	21%		
入力計	313, 020	100%		
未入力	1, 201, 552	_		
合計	1, 514, 572	_		

表 9 職位別受検者数

職位	人数	比率
管理職(課長以上)	32, 818	11%
その他 (一般職含む)	273, 112	89%
入力計	305, 930	100%
未入力	1, 208, 642	—
合計	1, 514, 572	_

表 10 平成 29 年、30 年比較 57 項目の質問に対する回答状況

	仕事の内容・状態に関	そう	だ	まあそうだ		ややちがう		ちがう		未記入	
	する質問	30年	29年	30年	29年	30年	29年	30年	29年	30年	29年
1	非常にたくさんの仕事 をしなければならない	16. 6%	15. 7%	47. 2%	46. 8%	25. 0%	25. 7%	10.8%	11.4%	0.4%	0.4%
2	時間内に仕事が処理しきれない	14.1%	14.1%	30.8%	30. 7%	33. 4%	32.9%	21.4%	21.9%	0.4%	0.4%
3	- 生懸命働かなければ ならない	33. 5%	33. 2%	48. 9%	48. 5%	12. 4%	12.7%	4. 9%	5. 2%	0.4%	0.3%
4	かなり注意を集中する 必要がある	28. 3%	27. 9%	50. 2%	49. 7%	17. 1%	17.6%	4.0%	4.4%	0.4%	0.4%
5	高度の知識や技術が必 要な難しい仕事だ	12.1%	12.4%	39. 2%	39. 4%	35. 5%	35. 1%	12.7%	12.7%	0.4%	0.4%
6	勤務時間中はいつも仕 事のことを考えていな ければならない	18. 9%	18.8%	45. 6%	45. 5%	28. 1%	28. 3%	6. 9%	7. 1%	0.4%	0.4%
7	からだを大変よく使う 仕事だ	18. 9%	18.6%	28. 7%	28. 4%	30.6%	30.8%	21.4%	22. 0%	0.3%	0.3%
8	自分のペースで仕事が できる	10. 2%	10.1%	39. 6%	39. 3%	34. 8%	35. 1%	15. 1%	15. 2%	0.3%	0.3%
9	自分で仕事の順番・や り方を決めることがで きる	14.3%	14.6%	47.0%	46. 9%	27. 2%	27. 1%	11.1%	11.1%	0.3%	0.3%
10	職場の仕事の方針に自 分の意見を反映できる	6. 6%	6. 6%	44.6%	44.8%	35. 2%	35.0%	13.3%	13.2%	0.4%	0.4%
11	自分の技能や知識を仕 事で使うことが少ない	5. 8%	5. 8%	24. 1%	23. 8%	52.0%	51.5%	17.6%	18.4%	0.4%	0.4%
12	私の部署内で意見のく い違いがある	8.3%	8. 1%	28. 7%	28. 4%	45. 0%	44.7%	17.5%	18.3%	0.4%	0.4%
13	私の部署と他の部署とはうまが合わない	5. 4%	5. 4%	17. 3%	16. 9%	47. 5%	46.5%	29. 3%	30.7%	0.5%	0.5%
14	私の職場の雰囲気は友 好的である	20. 6%	21.6%	54. 3%	54. 0%	18.4%	17. 9%	6. 3%	6. 1%	0.4%	0.4%
15	私の職場の作業環境は 良くない(騒音、照 明、温度、換気など)	13. 5%	12. 9%	23. 6%	23. 3%	38. 5%	38.4%	23. 9%	24. 9%	0.5%	0.4%
16	仕事の内容は自分に あっている	15. 6%	16. 1%	56. 2%	56. 0%	21. 7%	21.6%	5.8%	5. 7%	0.6%	0.6%
17	働きがいのある仕事だ	18. 0%	19.0%	49. 9%	50. 3%	23. 3%	22. 5%	7. 9%	7.5%	0.9%	0.9%

	心身のストレス反応に	ほとんと		P 時々あった		しばしばあった		ほどんどいつも あった		未記	己入
	関する質問	30年	29年	30年	29年	30年	29年	30年	29年	30年	29年
1	活気がわいてくる	21.6%	20.9%	45.4%	45.1%	25. 7%	26. 3%	6.8%	7. 2%	0.5%	0.5%
2	元気いっぱいだ	19.4%	18.8%	43.7%	43.3%	27. 5%	28. 1%	9.0%	9.4%	0.5%	0.4%
3	生き生きする	23. 3%	22.6%	43.5%	43. 2%	25. 4%	26. 1%	7.3%	7. 6%	0.5%	0.5%
4	怒りを感じる	23. 2%	24.0%	42.4%	42. 7%	27.0%	26.4%	6. 9%	6. 5%	0.5%	0.4%
5	内心腹立たしい	26. 3%	27.1%	41.0%	41.3%	24.4%	23.7%	7.8%	7.4%	0.5%	0.4%
6	イライラしている	24.6%	25.0%	43.5%	43.8%	23.6%	23. 2%	7.8%	7.5%	0.5%	0.4%
7	ひどく疲れた	13.6%	14.1%	40.5%	41.2%	31.2%	30.7%	14.2%	13.7%	0.4%	0.4%
8	へとへとだ	30.4%	31.8%	36.4%	36. 5%	22.6%	21.7%	10. 2%	9. 6%	0.4%	0.4%
9	だるい	23. 0%	23. 9%	41.3%	41.7%	24.0%	23.4%	11.3%	10.8%	0.4%	0.2%
10	気がはりつめている	22.1%	22.4%	41.0%	41.0%	25.8%	25.6%	10.7%	10.6%	0.5%	0.4%
11	不安だ	32.0%	32.8%	37.5%	37. 3%	20. 2%	19. 7%	9. 9%	9.8%	0.5%	0.4%
12	落ち着かない	46.3%	47.5%	34.3%	34.0%	14.0%	13.5%	4.8%	4.6%	0.5%	0.4%
13	ゆううつだ	39. 4%	40.4%	35. 2%	35. 1%	17.0%	16.4%	8.1%	7.7%	0.5%	0.4%
14	何をするのも面倒だ	40.6%	41.8%	38.9%	38. 7%	14.4%	13.8%	5. 6%	5. 3%	0. 5%	0.4%
15	物事に集中できない	44.5%	45.5%	41.2%	40.9%	11.0%	10.5%	2.8%	2.6%	0.5%	0.5%
16	気分が晴れない	33. 0%	33.7%	42.9%	42. 9%	16.4%	16.0%	7.1%	6. 9%	0.5%	0.4%
17	仕事が手につかない	64.6%	65.9%	27.0%	26. 2%	6.1%	5. 7%	1.8%	1.7%	0.5%	0.5%

18	悲しいと感じる	62.0%	63. 1%	25. 0%	24. 5%	8. 9%	8.5%	3.7%	3.5%	0.5%	0.5%
19	めまいがする	71.6%	72.6%	20. 9%	20. 3%	5. 7%	5. 4%	1.3%	1.2%	0.5%	0.4%
20	体のふしぶしが痛む	57.3%	58. 3%	28. 1%	27.7%	9. 7%	9.4%	4.4%	4.2%	0.5%	0.5%
21	頭が重かったり頭痛が する	46. 4%	47.8%	34.6%	34. 1%	14. 7%	14.0%	3.8%	3.6%	0.5%	0.5%
22	首筋や肩がこる	23. 9%	24.4%	32.4%	32. 4%	23. 8%	23. 4%	19.6%	19.4%	0.4%	0.4%
23	腰が痛い	31.9%	32.9%	34. 1%	33. 9%	20.7%	20. 2%	12.9%	12.6%	0.5%	0.4%
24	目が疲れる	19. 1%	19.6%	35. 0%	35. 4%	28. 4%	28. 0%	17.1%	16.6%	0.5%	0.5%
25	動悸や息切れがする	72. 2%	73. 4%	19. 9%	19. 2%	5. 8%	5.4%	1.6%	1.5%	0.5%	0.5%
26	胃腸の具合が悪い	55. 5%	56.4%	29. 8%	29. 4%	10.3%	10.0%	3.9%	3.8%	0.5%	0.4%
27	食欲がない	71.6%	72.7%	22. 0%	21. 2%	4. 5%	4.3%	1.5%	1.4%	0.5%	0.4%
28	便秘や下痢をする	49.6%	50. 5%	31.0%	30.6%	12.7%	12.5%	6. 2%	6.0%	0.5%	0. 5%
29	よく眠れない	48. 2%	49.8%	32. 7%	32.0%	13.0%	12.5%	5.6%	5.3%	0.5%	0.4%

	周囲の支援の状況に関	非常	字に	カゝた	こり	多	少	全く	ない	未訂	己入
	する質問	30年	29年	30年	29年	30年	29年	30年	29年	30年	29年
1	気軽に上司と話ができ ますか	11.8%	11.8%	30.0%	30. 2%	48. 2%	48.3%	9. 5%	9.3%	0.5%	0.5%
2	気軽に同僚と話ができ ますか	21.3%	22. 0%	43. 1%	43.6%	32. 1%	31. 2%	3.0%	2.8%	0.5%	0.5%
3	気軽に家族・友人と話 ができますか	46. 3%	47.5%	35. 6%	35. 4%	15. 3%	14. 5%	2.2%	2.0%	0.7%	0.6%
4	上司はどれくらい頼り になりますか	14.5%	15. 1%	31.4%	31.8%	41.3%	40.9%	12.1%	11.6%	0.6%	0.6%
5	同僚はどれくらい頼り になりますか	14.3%	14.7%	37.0%	37. 5%	40.9%	40.3%	7.3%	6.9%	0.5%	0.5%
6	家族・友人はどれくら い頼りになりますか	37.6%	38.4%	37. 2%	37. 2%	21. 2%	20.6%	3.4%	3.1%	0.6%	0.6%
7	上司は個人的な相談に 乗ってくれますか	11.0%	11.1%	27. 9%	28. 2%	44.6%	44. 5%	15.8%	15.5%	0.7%	0.7%
8	同僚は個人的な相談に 乗ってくれますか	12.1%	12.2%	33. 1%	33. 4%	44.3%	44. 1%	9.9%	9.6%	0.6%	0.6%
9	家族・友人は個人的な 相談に乗ってくれます か	42.0%	42.9%	36. 9%	36. 9%	17.6%	16. 9%	2.9%	2.7%	0.5%	0.5%
	満足度に関する質問	満	足	まあ	満足	やや7	「満足	不清		未記	己入
	1157とスピハノの貝内	30年	29年	30年	29年	30年	29年	30年	29年	30年	29年
1	仕事に満足だ	12.2%	12.6%	49. 5%	50. 2%	27. 1%	26. 6%	10.8%	10. 2%	0.4%	0.4%
2	家庭生活に満足だ	30.0%	30.4%	50.9%	50. 9%	14. 5%	14.3%	4.1%	4.0%	0.5%	0.5%

*各質問の内容により、同じ「そうだ」の回答でもストレスが高い場合と低い場合があるため、ストレス度の高い回答に網掛けをした。

表 11 男女別、年代別高ストレス者の割合の推移

	22年度	23年度	2 4 年度	25年度	26年度	27年度	F度27年度28年 29年		30年							
年・年度				<u>201及</u> -ビス)	2012	2110			fサービス		, , ,					
性別・年代		合計点数法														
男性	7.9%	11.3%	11.3%	11.1%	11.9%	10.5%	11.2%	11.9%	13.1%	14.9%	15.8%					
女性	7.7%	13.3%	10.7%	12.1%	12.4%	12.2%	11.9%	13.0%	13.9%	11.6%	12.1%					
全体	7.9%	11.8%	11.1%	11.4%	12.0%	11.1%	11.5%	12.3%	13.4%	13.6%	14.4%					
10歳代	8.8%	14.3%	9.8%	10.9%	11.1%	9.6%	10.1%	12.1%	11.4%	10.3%	10.1%					
20歳代	10.0%	13.9%	11.9%	12.7%	13.1%	11.3%	13.7%	13.7%	15.1%	15.1%	15.5%					
30歳代	8.3%	12.9%	12.7%	12.2%	12.9%	11.7%	12.6%	13.9%	15.6%	16.2%	17.4%					
40歳代	7.6%	12.3%	12.5%	9.8%	9.8%	12.5%	13.1%	13.3%	14.9%	15.4%	16.1%					
50歳代	6.5%	8.9%	8.6%	9.1%	9.1%	9.9%	9.8%	11.5%	12.5%	12.5%	13.4%					
60歳代以_	3.4%	4.6%	4.1%	4.6%	4.6%	5.0%	4.9%	5.9%	6.3%	6.2%	6.5%					

表 12 男女別高ストレス者数の割合

	高ストレス者数	受検者数	高ストレス者
			の割合
男性	148, 778	922, 446	16. 1%
女性	69, 684	563, 417	12. 4%
全体	218, 462	1, 485, 863	14. 7%

表 13 年代別高ストレス者数及び割合

2 10 11 (0.3)(1.5 . 1 . 7 . 1 . 2000 0 1.10										
	高ストレス者数	受検者数	高ストレス者 の割合							
10 歳代	1,856	18, 057	10. 3%							
20 歳代	40, 078	255, 307	15. 7%							
30 歳代	55, 171	312, 071	17. 7%							
40 歳代	65, 028	398, 168	16. 3%							
50 歳代	44, 318	324, 116	13. 7%							
60 歳以上	12, 011	178, 144	6. 7%							
全体	218, 462	1, 485, 863	14. 7%							

表 14 業種別高ストレス者の割合

衣 14 未催別向ハドレハイの割口	高ストレ	受検者数	高ストレス
業種	ス者数		者の割合
農業、林業	647	4, 221	15. 3%
漁業	88	732	12. 0%
鉱業、採石業、砂利採取業	165	1, 041	15. 9%
建設業	4, 144	32, 692	12. 7%
製造業	96, 803	545, 062	17. 8%
電気・ガス・熱供給・水道業	1,603	14,618	11.0%
情報通信業	3, 112	20,072	15. 5%
運輸業、郵便業	16, 068	117, 188	13. 7%
卸業、小売業	19, 293	135, 446	14. 2%
金融業、保険業	4, 922	42,740	11.5%
不動産業、物品賃貸業	558	5, 130	10.9%
学術研究、専門・技術サービス業	1,023	8, 949	11.4%
宿泊業、飲食業	3, 749	28, 404	13. 2%
生活関連サービス業、娯楽業	1, 790	13, 246	13. 5%
教育、学習支援業	9, 285	81, 843	11.3%
医療、福祉	20,653	153, 124	13. 5%
複合サービス事業	2, 707	19, 828	13. 7%
サービス業(他に分類されないもの)	10, 231	73, 695	13.9%
公務 (他に分類されるものを除く)	16,002	148, 591	10.8%
その他	5, 619	39, 241	14.3%
全業種	218, 462	1, 485, 863	14. 7%
製造業中分類			
食料品製造業	9,868	62, 400	15.8%
飲料・たばこ・飼料製造業	1,039	9,678	10.7%
繊維工業	2,671	16, 839	15.9%
木材・木製品製造業(家具を除く)	518	2, 428	21.3%
家具・装備品製造業	685	3, 735	18.3%
パルプ・紙・紙加工品製造業	1,512	7, 310	20. 7%
印刷・同関連業	3, 122	16, 650	18.8%
化学工業	2, 495	16, 085	15. 5%
石油製品・石炭製品製造業	94	949	9.9%
プラスチック製品製造業	3, 536	18,680	18.9%
ゴム製品製造業	1,410	8, 171	17. 3%
なめし皮・銅製品・毛皮製造業	24	204	11.8%
窯業・土石製品製造業	1, 572	9, 139	17. 2%
鉄鋼業	2, 273	13, 016	17.5%
非鉄金属製造業	1, 375	8,084	17.0%
金属製品製造業	10,829	54, 030	20.0%
はん用機械器具製造業	2, 296	10,653	21.6%
生産用機械器具製造業	2,611	15, 462	16. 9%
業務用機械器具製造業	1, 370	7, 215	19.0%
電子部品・デバイス・電子回路製造業	4, 769	26, 229	18. 2%
電気機械器具製造業	7, 365	46, 342	15. 9%
情報通信機械器具製造業	274	1, 490	18. 4%
輸送用機械器具製造業	14, 352	74, 099	19.4%

その他の製造業	20, 743	116, 174	17. 9%
製造業合計	96, 803	545, 062	17.8%

表 15 職種別高ストレス者の割合

職種	高ストレス者数	受検者数	高ストレス者の割合
専門・技術職	9, 089	62, 610	14. 5%
事務職	6, 177	47, 666	13.0%
営業職	2, 071	13, 586	15. 2%
販売職	1, 524	9, 137	16. 7%
サービス職	1, 479	9, 555	15. 5%
運輸・通信職	1, 851	12, 931	14. 3%
技能職 (生産工程/労務作業)	9, 186	46, 792	19. 6%
その他 (どれにも該当しない場合)	8, 653	60, 308	14. 3%
未入力	178, 432	1, 223, 278	14. 6%
合計	218, 462	1, 485, 863	14. 7%

表 16 雇用形態別高ストレス者の割合

	*		
雇用形態	高ストレス者数	受検者数	高ストレス者の割合
正規社員	32, 746	196, 942	16. 6%
出向社員	384	3, 351	11.5%
派遣社員	413	3, 323	12. 4%
パート社員	4, 195	37, 860	11.1%
その他 (どれにも該当しない場合)	8, 679	64, 126	13. 5%
未入力	172045	1, 180, 261	14.6%
合計	218, 462	1, 485, 863	14. 7%

表 17 職種別高ストレス者の割合

職位	高ストレス者数	受検者数	高ストレス者の割合
管理職 (課長以上)	4, 230	32, 220	13. 1%
その他(一般職含む)	42, 038	266, 593	15. 8%
未入力	172194	1, 187, 050	14. 5%
合計	218, 462	1, 485, 863	14. 7%

表 18 尺度別ストレス状況(男性)

ストレス度	評価	評価1		評価 2		評価3		評価4		i 5
尺度	30年	29年								
心理的な仕事の負担(量)	8.2%	7.6%	18.5%	18.2%	39.5%	39.1%	23.5%	24.3%	10.4%	10.8%
心理的な仕事の負担(質)	5.3%	5.2%	21.6%	21.5%	42.3%	42.0%	23.8%	24.1%	7.0%	7.2%
身体的負担度	18.1%	17.5%	29.0%	28.5%	32.6%	32.9%	20.3%	21.2%	0.0%	0.0%
職場の対人関係	6.2%	5.9%	20.2%	20.0%	45.7%	44.9%	21.7%	22.6%	6.2%	6.6%
職場環境	14.4%	13.7%	23.4%	23.2%	38.5%	38.4%	23.6%	24.7%	0.0%	0.0%
仕事のコントロール度	7.4%	7.3%	20.1%	20.2%	36.0%	36.3%	29.1%	28.9%	7.4%	7.4%
技能の活用度	5.8%	5.8%	23.7%	23.5%	52.4%	51.7%	18.1%	18.9%	0.0%	0.0%
仕事の適性度	6.4%	6.4%	22.9%	22.8%	55.7%	55.6%	0.0%	0.0%	14.9%	15.3%
働きがい	8.7%	8.2%	24.7%	23.8%	49.8%	50.2%	0.0%	0.0%	16.8%	17.7%
活気	13.4%	12.8%	14.0%	13.7%	39.4%	39.2%	24.1%	24.7%	9.0%	9.6%
イライラ感	9.3%	8.8%	22.2%	21.5%	35.5%	35.5%	18.0%	18.8%	15.1%	15.4%
疲労感	8.9%	8.4%	25.4%	24.6%	44.9%	45.4%	10.4%	10.8%	10.5%	10.8%
不安感	9.0%	8.7%	17.6%	17.1%	46.3%	46.4%	13.9%	14.4%	13.2%	13.3%
抑うつ感	9.4%	8.7%	17.2%	16.5%	35.5%	35.6%	18.7%	19.3%	19.2%	19.8%
身体愁訴	11.6%	10.7%	18.7%	18.1%	38.3%	38.6%	25.6%	26.6%	5.9%	6.0%
上司のサポート	9.5%	9.0%	30.6%	29.9%	28.1%	28.8%	21.7%	22.0%	10.1%	10.1%
同僚のサポート	10.1%	9.6%	37.0%	36.3%	33.9%	34.5%	12.4%	12.9%	6.6%	6.6%
家族・友人のサポート	13.7%	12.8%	16.5%	16.5%	22.3%	22.1%	21.0%	21.9%	26.5%	26.8%
仕事や家庭の満足度	5.8%	5. 5%	13.2%	12.8%	56.5%	56.6%	15.4%	15.8%	9.1%	9.4%

表 19 尺度別ストレス状況(女性)

コーレコー	ストレ	/ス大	ストレス	、やや大	ふく	つう	ストレス	やや小	ストレ	ノス小
ストレス度 尺度	評句	fi 1	評価	fi 2	評信	5 3	評価	4	評価	fi 5
八及	30年	29年	30年	29年	30年	29年	30年	29年	30年	29年
心理的な仕事の負担(量)	6.5%	6.3%	17.5%	17.7%	53.0%	52.7%	17.4%	17.7%	5.6%	5.6%
心理的な仕事の負担(質)	13.7%	13.7%	32.2%	32.3%	35.1%	34.9%	14.7%	14.7%	4.3%	4.3%
身体的負担度	20.3%	20.3%	28.3%	28.3%	27.9%	27.8%	23.5%	23.6%	0.0%	0.0%
職場の対人関係	5.5%	5.3%	18.2%	17.8%	42.0%	41.3%	25.9%	26.8%	8.5%	8.9%
職場環境	12.2%	11.7%	24.3%	23.8%	39.1%	39.1%	0.0%	0.0%	24.4%	25.4%
仕事のコントロール度	3.8%	3.7%	13.6%	13.6%	52.1%	51.9%	24.6%	24.7%	6.0%	6.0%
技能の活用度	6.0%	5.8%	24.9%	24.5%	52.1%	51.8%	17.0%	17.8%	0.0%	0.0%
仕事の適性度	4.8%	4.8%	20.2%	20.1%	58.2%	57.7%	0.0%	0.0%	16.9%	17.4%
働きがい	6. 7%	6.4%	21.6%	20.9%	51.4%	51.6%	0.0%	0.0%	20.2%	21.1%
活気	13.7%	13.3%	15.6%	15.5%	37.1%	36.7%	23.1%	23.7%	10.5%	10.9%
イライラ感	6.9%	6.6%	16.7%	16.1%	43.1%	43.3%	19.4%	20.0%	13.9%	14.0%
疲労感	7.8%	7.4%	22.2%	21.4%	40.8%	40.9%	21.3%	22.2%	7.8%	8.1%
不安感	4.9%	4.8%	19.3%	18.9%	43.8%	43.8%	15.6%	16.0%	16.4%	16.5%
抑うつ感	6.2%	5.9%	18.5%	18.0%	35.7%	35.5%	20.4%	21.1%	19.1%	19.5%
身体愁訴	7. 2%	6.7%	19.6%	18.9%	37.0%	36.9%	25.5%	26.3%	10.8%	11.1%
上司のサポート	5. 7%	5.5%	15.0%	14.9%	39.6%	39.5%	31.2%	31.7%	8.5%	8.4%
同寮のサポート	8.6%	8.3%	33.9%	33.4%	34.6%	35.0%	14.5%	15.0%	8.4%	8.4%
家族・友人のサポート	9.7%	9.0%	13.3%	13.0%	20.0%	19.8%	22.0%	22.8%	35.0%	35.5%
仕事や家庭の満足度	4.2%	4.0%	11.1%	10.9%	58.7%	58. 7%	16.9%	17.3%	9.0%	9.2%

表20 仕事の負担(量)、コントロール度、上司・同僚のサポートの分布(男性)

	総数(人)	評価1+評価2	評価3	評価4+評価5
仕事の負担(量)(人)	922, 446	245, 564	364, 363	312, 519
比率(%)	100%	26.6%	39.5%	33. 9%
仕事のコントロール度(人)	922, 446	253, 766	332, 094	336, 586
比率(%)	100%	27. 5%	36.0%	36. 5%
上司のサポート(人)	922, 446	369, 919	259, 204	293, 323
比率(%)	100%	40. 1%	28. 1%	31.8%
同僚のサポート(人)	922, 446	434, 143	313, 118	175, 185
比率(%)	100%	47. 1%	72. 1%	19.0%

表 21 仕事の負担(量)、コントロール度、上司・同僚のサポートの分布(女性)

	総数(人)	評価1+評価2	評価3	評価4+評価5
仕事の負担(量)(人)	563, 417	135, 402	298, 834	129, 181
比率(%)	100%	24.0%	53.0%	22. 9%
仕事のコントロール度(人)	563, 417	97, 765	293, 326	172, 326
比率(%)	100%	17. 4%	52. 1%	30. 6%
上司のサポート(人)	563, 417	116, 849	222, 964	223, 604
比率(%)	100%	20. 7%	39.6%	39. 7%
同僚のサポート(人)	563, 417	239, 427	195, 107	128, 883
比率(%)	100%	42.5%	81.5%	22. 9%

表 22 心身のストレス反応と仕事の負担(量)、コントロール度、上司・同僚のサポートの関係 (評価 1)

	₩*/-	仕事の負担(量)	仕事のコントロール度	上司のサポート	同僚のサポート
	総数	評価1	評価1	評価1	評価1
活気(人)	111, 847	32, 090	34, 179	45, 493	49, 600
比率(%)	100%	28. 7%	30.6%	40. 7%	44. 3%
イライラ感(人)	111, 847	27, 194	24, 778	33, 915	33, 034
比率(%)	100%	24. 3%	22. 2%	30. 3%	29. 5%
不安感(人)	111, 847	31, 007	24, 198	25, 138	26, 981
比率(%)	100%	27. 7%	21.6%	22. 5%	24. 1%
抑うつ感(人)	111, 847	26, 549	24, 157	29, 302	31, 189
比率(%)	100%	23. 7%	21.6%	26. 2%	27. 9%
疲労感(人)	111, 847	36, 278	25, 935	27, 787	28, 632
比率(%)	100%	32.4%	23. 2%	24. 8%	25.6%
身体愁訴(人)	111, 847	25, 961	23, 196	29, 014	31, 868
比率(%)	100%	23. 2%	20.7%	25. 9%	28. 5%

表 23 心身のストレス反応と仕事の負担(量)、コントロール度、上司・同僚のサポートの関係 (評価 1+評価 2)

	60.W.	仕事の負担(量)	仕事のコントロール度	上司のサポート	同僚のサポート	
	総数	評価1及び評価2	評価1及び評価2	評価1及び評価2	評価1及び評価2	
活気(人)	380, 966	146, 654	160, 141	211, 293	267, 371	
比率(%)	100%	38. 5%	42.0%	55. 5%	70. 2%	
イライラ感(人)	380, 966	167, 438	153, 192	207, 441	246, 017	
比率(%)	100%	44. 0%	40. 2%	54. 5%	64.6%	
不安感(人)	380, 966	174, 060	145, 720	170, 283	217, 329	
比率(%)	100%	45. 7%	38. 3%	44. 7%	57. 0%	
抑うつ感(人)	380, 966	157, 986	147, 424	188, 092	235, 577	
比率(%)	100%	41. 5%	38. 7%	49. 4%	61.8%	
疲労感(人)	380, 966	213, 024	175, 260	210, 352	263, 554	
比率(%)	100%	55. 9%	46.0%	55. 2%	69. 2%	
身体愁訴(人)	380, 966	159, 208	147, 093	193, 611	246, 517	
比率(%)	100%	41. 8%	38.6%	50. 8%	64. 7%	

表 24 仕事の負担 (量)、仕事のコントロール度、上司・同僚のサポートと心身のストレス反応の 関係 (評価 1)

	総数	活気	イライラ感	不安感	抑うつ感	疲労感	身体愁訴
仕事の負担(量) 評価1及び評価2(人)	380, 966	146, 654	167, 438	174, 060	157, 986	213, 024	159, 208
比率(%)	100%	38. 5%	44.0%	45. 7%	41. 5%	55. 9%	41.8%
仕事のコントロール度 評価1及び評価2(人)	380, 966	160, 141	153, 192	145, 720	147, 424	175, 260	147, 093
比率(%)	100%	42.0%	40. 2%	38. 3%	38. 7%	46.0%	38.6%
上司のサポート 評価1及び評価2(人)	380, 966	211, 293	207, 441	170, 283	188, 092	210, 352	193, 611
比率(%)	100%	55. 5%	54. 5%	44. 7%	49.4%	55. 2%	50.8%
同僚のサポート 評価1及び評価2(人)	380, 966	267, 371	246, 017	217, 329	235, 577	263, 554	246, 517
比率(%)	100%	70. 2%	64.6%	57.0%	61.8%	69. 2%	64. 7%

表 25 仕事の負担(量)、仕事のコントロール度、上司・同僚のサポートと心身のストレス反応の 関係(評価 1+評価 2)

	総数	活気	イライラ感	不安感 抑うつ感		疲労感	身体愁訴
仕事の負担(量) 評価1(人)	111, 847	32, 090	27, 194	31, 007	26, 549	36, 278	25, 961
比率(%)	100%	29%	24. 3%	27. 7%	23. 7%	32. 4%	23. 2%
仕事のコントロール度 評価1(人)	111, 847	34, 179	24, 778	24, 198	24, 157	25, 935	23, 196
比率(%)	100%	30.6%	22. 2%	21.6%	21.6%	23. 2%	20. 7%
上司のサポート 評価1(人)	111, 847	45, 493	33, 915	25, 138	29, 302	27, 787	29, 014
比率(%)	100%	40. 7%	30. 3%	22. 5%	26. 2%	24.8%	25. 9%
同僚のサポート 評価1(人)	111, 847	49, 600	33, 034	26, 981	31, 189	28, 632	31, 868
比率(%)	100%	44. 3%	29.5%	24. 1%	27. 9%	25. 6%	28. 5%

表 26 男女別・業種別健康リスク

		男性		女性			
業種	仕事の 負担の健 康リスク	職場の 支援の 健康リ スク	総合リスク	仕事の 負担の 健康リ スク	職場の 支援 健康 スク	総合リスク	
全衛連 平均	98	104	101	99	96	95	
農業、林業	97	106	102	98	103	100	
漁業	96	102	97	96	99	95	
鉱業、採石業、砂利採取業	96	108	103	94	101	94	
建設業	97	101	97	93	98	91	
製造業	100	107	107	98	104		
電気・ガス・熱供給・水道業	94	97	91	93	96		
情報通信業	99	104	102	97	99		
運輸業、郵便業	94	108	101	97	102	98	
卸業、小売業	100	101	101	99	96		
金融業、保険業	102	95	96	99	92	91	
不動産業、物品賃貸業	94	99	93	95	97	92	
学術研究、専門・技術サービス業	94	101	94	95	96		
宿泊業、飲食業	93	101	93	97	95		
生活関連サービス業、娯楽業	96	104	99	99	97	96	
教育、学習支援業	99	94	93	101	89	89	
医療、福祉	101	100	101	103	93		
複合サービス事業	96	103	98	98	98	96	
サービス業 (他に分類されないもの)	96	106	101	97	99		
公務(他に分類されるものを除く)	96	94	90	100	88		
その他	96	103	98	98	99	97	

表 27 性別、年代別健康リスク

	対象		の負担 均得点	職場 <i>0</i> 平均		倭	建康リスク	,
	受検者数	量的 負担	コント ロール度	上司	同僚	仕事の 負担	職場の 支援	総合
厚生労働省研究モデル 全国平均 (男性)	_	8.7	7.9	7.5	8.1	100	100	100
全衛連平均 (男性)	922,446	8.3	7.6	7.4	7.8	98	104	101
10歳代	10,952	8.1	7.4	8.4	8.6	100	87	87
20歳代	149,620	8.5	7.6	7.9	8.3	100	94	94
30歳代	201,091	8.7	7.5	7.5	7.9	103	102	105
40歳代	248,134	8.6	7.5	7.3	7.7	102	106	108
50歳代	195,217	8.1	7.7	7.1	7.5	97	109	105
60歳以上	117,432	6.8	8.1	7.3	7.6	85	106	90
厚生労働省研究モデル 全国平均(女性)	_	8.7	7.9	7.5	8.1	100	100	100
全衛連平均 (女性)	563,417	8.1	7.4	7.1	8.1	99	96	95
10歳代	7,105	7.7	7.2	7.8	8.5	99	86	85
20歳代	105,687	8.2	7.5	7.5	8.3	99	90	89
30歳代	110,980	8.1	7.4	7.2	8.1	99	95	94
40歳代	150,034	8.1	7.3	7.1	8.0	100	97	97
50歳代	128,899	8.2	7.2	6.8	7.9	100	101	101
60歳以上	60,712	7.5	7.5	6.8	7.8	96	101	96

表 28 業種別健康リスク (男性)

		仕 重	の負担	職 担 /	0支援	健	康リスク	
			~/ RIE	144.7/m V	- <u>~ 1</u> x) (注	10×111	
	対象 受験者数	量的 負荷	コント ロール度	上司の 支援	同僚の 支援	仕事の 負担	職場の 支援	総合
業種								
厚生労働省研究モデル 全国平均	-	8. 7	7. 9	7. 5	8.1	100	100	100
全衛連 平均	922, 446	8.3	7. 6	7.4	7.8	98	104	101
農業、林業	2, 575	8.2	7.8	7.3	7.7	97	106	102
漁業	483	8.0	7.8	7. 6	7.8	96	102	97
鉱業、採石業、砂利採取業	879	7. 9	7. 6	7. 1	7.7	96	108	103
建設業	27, 965	8. 2	7.8	7.5	7.9	97	101	97
製造業	395, 089	8.5	7. 6	7. 2	7.6	100	107	107
電気・ガス・熱供給・水道業	12,651	7. 9	7. 9	7.8	8. 1	94	97	91
情報通信業	14, 358	8.4	7. 7	7.5	7.7	99	104	102
運輸業、郵便業	97, 808	7.4	7. 4	7. 1	7.7	94	108	101
卸業、小売業	67, 279	8.6	7.8	7.6	7. 9	100	101	101
金融業、保険業	23, 529	8.7	7. 6	7. 9	8.1	102	95	96
不動産業、物品賃貸業	3, 240	8.2	8. 1	7. 7	8.0	94	99	93
学術研究、専門・技術サービス業	6, 140	8.2	8. 1	7.6	7.8	94	101	94
宿泊業、飲食業	14, 683	7.7	7.8	7.6	7.9	93	101	93
生活関連サービス業、娯楽業	6,884	7. 9	7. 7	7. 3	7.8	96	104	99
教育、学習支援業	41,943	8.8	8.0	7.8	8.4	99	94	93
医療、福祉	42,838	8.4	7. 6	7.6	8.0	101	100	101
複合サービス事業	12, 153	7.9	7. 6	7.4	7.8	96	103	98
サービス業 (他に分類されないもの)	48, 163	7.8	7. 5	7.3	7.7	96	106	101
公務 (他に分類されるものを除く)	77, 549	8.1	7.8	7.9	8.3	96	94	90
その他	26, 237	8.0	7. 7	7.4	7.9	96	103	98
食料品製造業	30, 188	8.1	7. 5	7.2	7.6	99	108	106
飲料・たばこ・飼料製造業	8,078	8.6	8.0	7.5	8.1	98	99	97
繊維工業	9, 418	8.4	7. 7	7. 1	7.5	99	110	108
木材・木製品製造業(家具を除く)	1,947	8.5	7. 6	7.0	7.3	101	113	114
家具・装備品製造業	2,717	8.7	7. 6	7.3	7.7	103	106	109
パルプ・紙・紙加工品製造業	5,650	8.2	7. 3	6. 9	7.4	101	112	113
印刷・同関連業	11, 523	8.6	7. 5	7. 2	7.5	103	109	112
化学工業	12, 575	8.2	7.8	7.4	7.8	97	104	100
石油製品・石炭製品製造業	805	7.7	7. 9	7.6	8.0	92	99	91
プラスチック製品製造業	12, 935	8.5	7. 5	7. 1	7.5	101	109	110
ゴム製品製造業	6, 271	8.2	7. 6	7. 2	7.6	98	107	104
なめし皮・銅製品・毛皮製造業	130	8.0	8.0	6. 9	7.3	93	114	106
窯業・土石製品製造業	7, 569	8.2	7. 7	7. 2	7.6	97	107	103
鉄鋼業	11, 714	8.1	7. 6	7. 3	7.7	98	106	103
非鉄金属製造業	6, 274	8.3	7. 7	7. 2	7.6	98	108	105
金属製品製造業	43, 093	8.6	7. 5	7. 1	7.5	102	109	111
はん用機械器具製造業	8,830	8.8	7. 6	7. 1	7.5	103	110	113
生産用機械器具製造業	12, 923	8. 7	7. 7	7. 2	7.7	101	107	108
業務用機械器具製造業	5, 883	8.6	7. 6	7.0	7.5	102	111	113
電子部品・デバイス・電子回路製造業	18, 991	8.7	7. 7	7. 1	7.6	101	109	110
電気機械器具製造業	32, 997	8.4	7. 7	7. 3	7.6	98	107	104
情報通信機械器具製造業	1,005	8.5	7. 5	7. 2	7.6	102	107	109
輸送用機械器具製造業	63, 210	8.5	7. 5	7. 2	7.7	102	107	109
その他の製造業	80, 363	8.5	7.6	7.2	7.6	101	107	108

表 29 業種別健康リスク (女性)

		仕事の	の負担	職場の)支援	í	建康リスク	
NII. ore	対象 受験者数	量的負荷	コント ロール度	上司の 支援	同僚の 支援	仕事の 負担	職場の 支援	総合
<u>業種</u>								
厚生労働省研究モデル 全国平均	-	7. 9	7. 2	6. 6	8. 2	100	100	100
全衛連 平均	563, 417	8. 1	7.4	7. 1	8.0	99	96	95
農業、林業	1, 646	7.5	7.2	6.7	7. 7	98	103	100
漁業	249	7.5	7.4	7. 1	7. 7	96	99	95
鉱業、採石業、砂利採取業	162	7.4	7.8	6.9	7.8	94	101	94
建設業	4, 727	7.3	7.9	7. 1	7.8	93	98	91
製造業	149, 973	7.8	7.3	6.7	7.7	98	104	101
電気・ガス・熱供給・水道業	1, 967	7.4	8.0	7.3	7.9	93	96	89
情報通信業	5, 714	7.7	7.5	7.1	7.8	97	99	96
運輸業、郵便業	19, 380	7.5	7.3	6.8	7.8	97	102	98
卸業、小売業	68, 167	8.0	7.5	7.0	8.1	99	96	95
金融業、保険業	19, 211	7. 7	7.1	7. 5	8. 2	99	92	91
不動産業、物品賃貸業	1, 890	7.8	8.0	7. 2	7.9	95	97	92
学術研究、専門・技術サービス業	2, 809	7.8	7.9	7.2	7.9	95	96	91
宿泊業、飲食業	13, 721	7.5	7.4	7. 1	8. 1	97	95	92
生活関連サービス業、娯楽業	6, 362	7.9	7.3	7.0	8.0	99	97	96
教育、学習支援業	39, 900	8.9	7.8	7.5	8. 5	101	89	89
医療、福祉	110, 286	8.5	7.2	7. 3	8. 2	103	93	95
複合サービス事業	7, 675	7.9	7.4	7.0	7. 9	98 97	98	96
サービス業(他に分類されないもの) 公務(他に分類されるものを除く)	25, 532	7.7	7.4	6.9	7. 9		99	96
公務(他に万類されるものを除く) その他	71, 042 13, 004	8. 3 7. 8	7.5 7.3	7. 6 6. 9	8. 4 7. 9	100 98	88 99	88 97
食料品製造業	32, 212	7.7	6.8	6.6	7. 9	101	104	105
飲料・たばこ・飼料製造業	1,600	7.7	7.6	7. 1	8. 1	97	96	93
繊維工業	7, 421	8.0	7.4	6. 5	7. 7	99	106	104
木材・木製品製造業(家具を除く)	481	7.7	7.4	6.8	7. 5	97	105	101
家具・装備品製造業	1, 018	8.0	7.7	7. 2	8. 1	98	95	93
パルプ・紙・紙加工品製造業	1,660	7.6	7. 0	6. 4	7. 6	99	108	106
印刷・同関連業	5, 127	7.9	7.5	7. 0	7. 7	98	100	98
化学工業	3, 510	7.7	7.6	6. 9	7. 7	97	101	97
石油製品・石炭製品製造業	144	7.3	8.0	6. 9	7. 6	93	102	94
プラスチック製品製造業	5, 745	7.8	7.2	6.5	7.6	99	106	104
ゴム製品製造業	1, 900	7.8	7.6	6.8	7.8	97	102	98
なめし皮・銅製品・毛皮製造業	74	6.9	7.5	7.0	8.0	93	98	91
窯業・土石製品製造業	1,570	7.5	7.6	6.8	7.6	95	103	97
鉄鋼業	1, 302	7.5	7.8	6.8	7.6	94	103	96
非鉄金属製造業	1,810	7.5	7.6	6.8	7.9	96	101	96
金属製品製造業	10, 937	7.9	7.5	6.7	7.6	98	105	102
はん用機械器具製造業	1,823	7.9	7.6	6. 7	7.6	97	105	101
生産用機械器具製造業	2, 539	7.7	7.8	6.8	7.7	95	102	96
業務用機械器具製造業	1, 332	7.7	7.5	6.6	7.6	97	106	102
電子部品・デバイス・電子回路製造業	7, 238	7.8	7.5	6.5	7. 7	97	105	101
電気機械器具製造業	13, 345	7.7	7.4	6.6	7. 7	97	105	101
情報通信機械器具製造業	485	7.7	7.1	6.4	7.4	99	109	107
輸送用機械器具製造業	10, 889	7.6	7.6	6.8	7.7	96	103	98
その他の製造業	35, 811	7.9	7.3	6.7	7.7	99	103	101

表 30 年職種別、雇用形態別、職位別健康リスク(男性)

		仕事の	の負担	職場⊄	り支援	1	健康リスク	
業種	対象 受験者数	量的負荷	コント ロール度	上司の 支援	同僚の 支援	仕事の 負担	職場の 支援	総合
厚生労働省研究モデル 全国平均	-	8. 7	7. 9	7. 5	8. 1	100	100	100
全衛連 平均	922446	8.3	7.6	7.4	7.8	98	104	101
職種								
専門・技能職	38, 204	8.5	7. 7	7. 5	7. 9	99	101	99
事務職	25,902	8.3	7. 9	7. 7	8.0	96	99	95
営業職	11, 321	8.7	7. 9	7.6	8.0	100	99	99
販売職	4,300	9.1	7.5	7.5	8.0	106	101	107
サービス職	4,760	8.0	7.4	7.3	7.8	98	104	101
運輸・通信職	11,910	7. 2	7. 3	7.0	7. 7	93	109	101
技能職	34,656	8. 2	7.4	7. 0	7. 5	101	110	111
その他	36,805	8. 1	7. 5	7.4	7.8	98	104	101
未入力	754, 588	8.3	7. 7	7.4	7.8	98	104	101
雇用形態								
正規社員	136, 491	8.4	7.6	7.4	7.8	100	103	103
出向社員	2,508	8.1	8.0	7.7	8.0	94	99	93
派遣社員	1,999	7.6	7.4	7. 1	7.6	96	108	103
パート社員	8,979	7.2	7.6	7.3	7. 7	91	106	96
その他	37,861	7.9	7.6	7.4	7.8	96	104	99
未入力	734,608	8.3	7.7	7.4	7.8	98	104	101
職位								
管理職	28, 457	8.6	8. 2	7.6	7. 9	96	100	96
その他	161,579	8.2	7.5	7.3	7.8	99	104	102
未入力	732, 410	8.3	7. 7	7.4	7.8	98	104	101

表 31 職種別、雇用形態別、職位別健康リスク(女性)

		仕事の	り負担	職場の	り支援	1	建康リスク	
業種	対象 受験者数	量的 負荷	コント ロール度	上司の 支援	同僚の 支援	仕事の 負担	職場の 支援	総合
厚生労働省研究モデル 全国平均	-	7. 9	7.2	6. 6	8.2	100	100	100
全衛連 平均	563, 417	8.1	7.4	7.1	8.0	99	96	95
職種								
専門・技能職	24, 406	8.6	7.3	7.4	8. 2	103	92	94
事務職	21, 764	7.7	7.7	7. 3	8.0	96	95	91
営業職	2, 265	8.2	7.7	7. 5	8.1	98	92	90
販売職	4,837	8.4	7.3	7. 1	8.2	102	95	96
サービス職	4, 795	8.2	7.1	7.2	8.2	101	94	94
運輸・通信職	1,021	7.7	7.3	7.0	7.9	98	99	97
技能職	12, 136	7.8	6.9	6. 4	7.6	100	107	107
その他	23, 503	8.0	7.4	7.0	8.1	99	97	96
未入力	468, 690	8.1	7.4	7. 1	8.0	99	96	95
雇用形態								
正規社員	60, 451	8.4	7.4	7.3	8.1	101	95	95
出向社員	843	8.1	7.6	7. 1	8.0	98	96	94
派遣社員	1, 324	7. 1	7.3	6.8	7.8	95	102	96
パート社員	28, 881	7.6	7.2	6. 9	8.1	98	98	96
その他	26, 265	8.0	7.4	7.0	8.1	98	97	95
未入力	445, 653	8. 1	7.4	7. 1	8.0	99	96	95
職位								
管理職	3, 763	9.1	7.9	7.5	8.1	101	91	91
その他	105, 014	8.1	7.3	7. 1	8.0	100	96	96
未入力	454, 640	8.1	7.4	7. 1	8.0	99	96	95

表 32 平成 22 年度からの医師面接及び相談状況の推移

	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27 [£]	F度	28年	29年	30年		
	旧サービス							新サービス				
医師面接												
契約事業場								2, 259	5, 247	5, 892		
ストレスチェック 実施従業員数	25919	35, 051	69, 765	64, 592	60, 145	34, 438	55, 450	420, 583	696, 499	603, 700		
医師面接対象者数	2037	4, 369	7,775	7, 366	7, 231	3,829	6,514	50, 208	88, 430	73, 668		
(比率%)	7.86%	12.46%	11.14%	11.40%	12.02%	11.12%	11.75%	11.94%	12.70%	12. 20%		
実施数	140	153	190	318	291	146	51	1,509	2, 242	6,073		
(比率%)	6.87%	3.50%	2.44%	4.32%	4.02%	3.81%	0.78%	3.01%	2.54%	8.24%		
相談対応												
契約事業場								376	1, 985	1,794		
ストレスチェック 実施従業員数								78, 541	215, 805	200, 201		
実施数							71	23	523	1,016		
(比率%)								0.03%	0. 24%	0.51%		

(参考1) 全衛連ストレスチェック調査票(質問項目57項目)

	(事業場コード)
	(受験者コード)
■あなたの仕事についてうかがいます。	# 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1
1. 非常にたくさんの仕事をしなければならない 🔠 🛅	19. 85± 19. 55 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10
2.時間内に仕事が処理しきれない	20. 体のふしぶしが集む
3. 一生場を働かをければをもない	21. 頭が重かったり頭痛がする
4. かなり注意を集中する必要がある	22. 首筋や原がこる (日) 日 日 日
5. 高度の知識や技術が必要な難しい仕事だ	23. 25%
6. 動芸時間中はいつも仕事のことを考えてい 6. かまければならない	24. 日が優れる
7. からだを大変よく使う仕事だ	□ 25. 動神や息切れがする □ □ □ □
8. 負分のペースで仕事ができる 💮 💮 🕞	□ 26. 育集の具合が悪い □ □ □ □
9. 負分で仕事の履書・やり方を決めることができる 💽 🔤 📴	27. 食歌がない 💮 📄 🗎
10. 職場の仕事の方針に自分の意見を反映できる 🔄 🔄	28. 任後ヤ下綱をする (4) (5) (6) (6) (6) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7
11. 貝分の技能や知識を仕事で使うことが少ない 🔠 🔤 📴	29. よく眠れない 🔲 🗎 🗎
12. 私の部構内で意見のくい違いがある	■あなたの買りの方々についてうかがいます。 弁 か き 全
13. 私の影響と他の影響とはうまが合わない	■あなたの属りのカ々についてつかがいます。 非 か 歩 全 全 最もあてはまるものを 1 つぬりつぶしてください。 だ り 少 く く
14. 私の職場の雰囲気は支打的である 🔄 🔄 🗀	大の人たちはどれくらい気軽に騒ができますか?い
15. 私の職場の作業環境 (集音、際羽、選星、 📵 🕟 🏵 換気など) はよくない	1.上司
18. 仕事の内容は自分にあっている	3.配偶者、家族、太人等
17. 角きがいのある仕事だ	■ あなたが困った時、次の人たちはどのくらい
■最近1か月のあなたの状態についてう せょ は はながいます。 最もあてはまるものを1つぬりつぶして なっここここここここここここここここここここここここここここここここここここ	iz 類りになりますか? を 4. 上司 回 回 回
最もあてはまるものを1つぬりつぶして ぷ る る ください。	5. 職場の対象 💿 💿 💿
1. 希気がわいてくる	6.配偶者、家族、太人等 回回回回
2. 元気がいっぱいだ	あなたの個人的な問題を相関した6、次の人
3. ± 2 ± 2 † 5	→ たちはどのくらに聞いてくれますか? → 7.上司 □ □ □ □ □
4. 怠りを振じる 🚳 🕟	
5. 内心臓立たしい 🔲 🗎 🕒	
8.イライラじている 🔟 🕞 🕞	9.配偶者、家族、太人等 回 回 回
7. ひどく疲れた 🖳 🔄 🗀	
8.へとへとだ 🔳 🗎 📴	ユ
9. £au 🗐 🗐 🗐	1. 仕事に満足だ 回回回回
10. 気がはりつめている	
11. 不快差 □ □ □	
12. 落ち着かない	<u> </u>
13. ゆううつだ	<u></u>
14. 何をするのも面情だ 🕒 🔝 💮	<u> </u>
15. 物事に集中できない	B
16. 気分が緩れない	-
17. 仕事が手につかない 回回回	
18. 珍しいと乗じる	■裏面 【ストレスチェック結果と健康診断結果の解析について (お願い)】に同意いただけましたら、右枠内のマークを塗りつぶして下さい

(参考2) 素点換算表(職業性ストレス簡易調査票57項目を利用する場合)

	· J 2) SKIMIX JF4X	.,,,,,,,	男性				女性						
尺度		得点	低い/	やや低い	7512	やや高い	高い/	低い/	IL IL Inte		14.14 ± 1.		
	計算		少い	/少い	普通	/多い	多い	少い	やや低い /少い	普通	やや高い /多い	高い/ 多い	
/ \/	No.は質問項目得点			-段:質	問項目1	合計得品	 5			 問項目1	_		
			上段:質問項目合計得点 下段は分布(n=15,933)					下段は分布(n=8,447)					
【ストレスの原因と考えられる因子】									-8,447)				
心理的な仕	<u> </u>		3-5	6-7	8-9	10_11	12	3-4	5-6	7–9	10_11	12	
事の負担	15-(No.1+No.2+No.3)					10-11	12		5-6	7-9	10-11	12	
(量)	10 (140.11140.21140.0)		7.2%	18.9%	40.8%	22.7%	10.4%	6.6%	20.4%	51.7%	15.6%	5.8%	
心理的な仕			3–5	6-7	8–9	10-11	12	3–4	5–6	7–8	9–10	11-12	
事の負担 (質)			4.5%	20.6%	43.4%	25.7%	5.7%	4.9%	17.5%	38.2%	29.1%	10.3%	
				1	2	3	4		1	2	3	4	
自覚的な身 体的負担度	5-No.7			33.8%	39.3%	18.7%	8.2%		37.0%	33.7%	19.7%	9.6%	
			3	4–5	6-7	8–9	10-12	3	4–5	6-7	8–9	10–12	
職場の対人関係でのみ	10-(No.12+No.13)+No. 14		5.7%	24.8%	47.5%	17.6%	4.5%	7.3%	26.8%	41.0%	18.4%	6.4%	
レス 職場環境に				1	2	3	4	1		2	2	4	
戦场環境に	5-No.15			25.1%	2 38.0%	23.1%	13.8%	17.7%		2 31.7%	3 28.8%	21.7%	
仕事のコン			3-4	5-6	7–8	9-10	11-12	3	4-5	6-8	9-10	11-12	
トロール度	15-(No.8+No.9+No.10)		5.4%	16.6%	37.1%	32.4%	8.5%	5.5%	16.0%	48.8%	23.3%	6.3%	
技能の活用			1	2	3	4	0.070	1	2	3	4	0.070	
度	No.11		4.5%	18.2%	49.4%	27.9%		9.1%	26.7%	45.6%	18.6%		
仕事の適性	5-No.16		1	2	3		4	1	2	3		4	
度	3-NO.10		6.4%	23.3%	54.9%		15.4%	9.3%	25.9%	49.7%		15.1%	
働きがい	5-No.17		1	2	3		4	1	2	3		4	
			7.3%	24.2%	51.4%		17.0%	13.1%	29.3%	44.5%		13.1%	
【ストレスによ	っておこる心身の反応]					T			1		1	
活気	No.1+No.2+No.3		3	4-5	6-7	8-9		3	4-5	6-7	8-9	10-12	
			10.9%	14.3%	41.6%	24.5%		13.4%	19.2%	37.3%	21.3%	8.8%	
イライラ感	No.4+No.5+No.6		3	4-5	6-7	8-9		3	4-5	6-8	9-10	11-12	
			10.3%	20.9%	38.2%	22.7%	4 17.0% 1 10-12 8.7% 1 10-12 7.8% 11-12 7.4% 1 10-12	7.6%	18.2% 4–5	45.1%	20.3% 9–11	8.8% 12	
疲労感	労感 No.7+No.8+No.9		9.7%	4 12.2%	5-7 47.4%	8-10 23.3%		3 6.2%	23.2%	6-8 40.1%	23.1%	7.4%	
			3.7/0	4	5-7	8-9		3	4	5-7	8-10	11-12	
不安感	No.10+No.11+No.12		8.3%	14.9%	51.9%	17.8%	7.1%	12.3%	15.6%	44.7%	21.6%	5.8%	
+m≥∽ =*	N. 40 N. 40 A A=1	-	6	7–8	9–12	13-16	17-24	6	7–8	9–12	13-17	18-24	
抑うつ感	No.13~No.18 の合計		15.1%	21.6%	40.6%	16.2%	6.5%	12.4%	18.9%	39.3%	22.3%	7.2%	
自从秋年	No.19~No.29 の合計		11	12-15		22-26	27-44	11-13	14-17	18-23	24-29	30-44	
身体愁訴			5.3%	31.0%	40.5%	15.9%	7.4%	8.3%	23.6%	38.6%	21.7%	7.8%	
【ストレス反応に影響を与える他の因子】													
上司からの サポート	15-(No.1+No.4+No.7)		3–4 6.9%	5–6 27.0%	7–8 32.8%	9-10 24.7%	11-12 8.7%	3 7.5%	4–5 22.0%	6-7 38.9%	8-10 26.7%	11-12 4.9%	
同僚からの			3-5	6-7	8–9	10-11	12	3-5	6-7	8–9	10-11	12	
サポート	15-(No.2+No.5+No.8))	6.1%	32.4%	39.9%	16.3%	5.3%	8.1%	31.3%	35.3%	17.9%	7.4%	
家族 友人			3-6	7–8	9	10-11	12	3-6	7–8	9	10-11	12	
からのサポ ート	15-(No.3+No.6+No.9)		6.9%	13.9%	20.3%	28.4%	30.6%	4.4%	10.6%	16.0%	28.6%	40.4%	
仕事や生活	40 (11 4:11 6)		2-3	4	5-6	7	8	2-3	4	5-6	7	8	
の満足度	10-(No.1+No.2)		5.0%	12.3%	57.2%	17.4%	8.1%	6.4%	15.4%	57.8%	15.4%	5.0%	
					· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	·					i .		

【参考文献】

- 1) 労働省. 平成 11 年度「作業関連疾患の予防に関する研究」労働の場におけるストレス及びその健康影響に関する研究報告書(平成 12 年 3 月・班長加藤正明)
- 2) 厚生労働省「労働安全衛生法に基づくストレスチェック実施マニュアル」 (平成28年4月改訂)
- 3) 平成23年度全衛連メンタルヘルスサービス実施結果報告書 (平成24年9月・公益社団法人 全国労働衛生団体連合会メンタルヘルス専門委員会)
- 4) 平成24年度全衛連メンタルヘルスサービス実施結果報告書 (平成25年9月・公益社団法人 全国労働衛生団体連合会メンタルヘルス専門委員会)
- 5) 平成25年度全衛連メンタルヘルスサービス実施結果報告書 (平成26年9月・公益社団法人 全国労働衛生団体連合会メンタルヘルス専門委員会)
- 6) 平成26年度全衛連メンタルヘルスサービス実施結果報告書 (平成27年9月・公益社団法人全国労働衛生団体連合会メンタルヘルス専門委員会)
- 7) 平成27年度全衛連メンタルヘルスサービス実施結果報告書 (平成28年10月・公益社団法人 全国労働衛生団体連合会メンタルヘルス専門委員会)
- 8) 平成28年全衛連ストレスチェックサービス実施結果報告書 (平成29年8月・公益社団法人 全国労働衛生団体連合会メンタルヘルス専門委員会)
- 9) 平成29年全衛連ストレスチェックサービス実施結果報告書 (平成30年9月・公益社団法人 全国労働衛生団体連合会メンタルヘルス専門委員会)

公益社団法人 全国労働衛生団体連合会 〒108-0014 東京都港区芝4-11-5 田町ハラビル TEL 03-5442-5934 FAX 03-5442-5937